

○逓信省告示第四百三十五號

明治四十年四月逓信省告示第二百二十三號別表ヲ左ノ通改正シ明治四十二年四月一日ヨリ施行ス
明治四十二年四月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

(別表)

第一號表 指定通信官署

逓信省構内郵便局	深川郵便局
淺草郵便局	下谷郵便局
神田郵便局	麹町郵便局
四谷郵便局	本郷郵便局
牛込郵便局	駒込郵便局
青山郵便局	麻布郵便局
九段郵便局	本所郵便局
三田郵便局	小石川郵便局
芝郵便局	高輪郵便局
赤坂郵便局	白金郵便局
丸之内郵便局	兩國郵便局
新橋郵便局	内線宿郵便局
浦和郵便局	八王子郵便局
小笠原島郵便局	新橋電信局
東京電信局	大阪高津郵便局
大阪川口郵便局	大阪高槻郵便局
大阪船場郵便局	大阪天満郵便局
大阪堀江郵便局	大阪天王寺郵便局
大阪難波郵便局	大阪安治川電信局
大阪梅田郵便局	
大阪玉造電信局	
大阪郵便局管轄	
東京郵便局管轄	

京都郵便局管轄
 横濱郵便局管轄
 神戶郵便局管轄
 長崎郵便局管轄
 札幌郵便局管轄
 新潟郵便局管轄
 名古屋郵便局管轄
 熊本郵便局管轄
 仙臺郵便局管轄
 廣島郵便局管轄
 宇都宮郵便局管轄
 長野郵便局管轄
 金澤郵便局管轄
 高松郵便局管轄
 鹿児島郵便局管轄
 在清國本邦郵便局

京都五條郵便局	京都西陣郵便局
京都七條郵便局	京都南口郵便局
伏見郵便局	新橋郵便局
横濱長者町郵便局	横濱本郵便局
神奈川郵便局	厚田郵便局
米子郵便局	砂野郵便局
長崎本町多郵便局	稚内郵便局
室蘭郵便局	名古屋郵便局
泊村郵便局	八幡郵便局
高田郵便局	沼田郵便局
名古屋赤塚郵便局	高岡郵便局
熊本井郵便局	善通寺郵便局
仙臺郵便局	久慈郵便局
廣島郵便局	天津郵便局
宇都宮郵便局	北京郵便局
長野郵便局	蘇州郵便局
金澤郵便局	南京郵便局
高松郵便局	沙市郵便局
鹿児島郵便局	長沙郵便局

本表ニ指定スル逓信官署ニ對シテハ明治四十年四月逓信省令第十四號逓信官署經費渡切規則施行細則第一條第一號乃至第七號第十一號乃至第十三號ノ經費ヲ交付ス

第二號表 指定逓信官署

東京郵便局管轄	千葉郵便局	甲府郵便局
大阪郵便局管轄	和歌山郵便局	奈良郵便局
京都郵便局管轄	堺郵便局	新宮郵便局
横濱郵便局管轄	大津郵便局	横須賀郵便局
神戸郵便局管轄	静岡郵便局	岡山郵便局
長崎郵便局管轄	濱松郵便局	姫路郵便局
札幌郵便局管轄	兵庫郵便局	三ノ宮電信局
新潟郵便局管轄	津山郵便局	佐世保郵便局
名古屋郵便局管轄	島取郵便局	釧路郵便局
熊本郵便局管轄	赤松郵便局	花咲電信局
仙臺郵便局管轄	旭川郵便局	長岡郵便局
廣島郵便局管轄	根室郵便局	津郵便局
宇都宮郵便局管轄	釧路郵便局	豊橋郵便局
	函館郵便局	山田郵便局
	旭川郵便局	久留米郵便局
	釧路郵便局	若松郵便局
	函館郵便局	山形郵便局
	旭川郵便局	酒田郵便局
	釧路郵便局	松江郵便局
	函館郵便局	山口郵便局
	旭川郵便局	水戸郵便局

長野郵便局管轄 本木郵便局
 青森郵便局管轄 盛岡郵便局
 金澤郵便局管轄 弘前郵便局
 高松郵便局管轄 富山郵便局
 徳島郵便局管轄 松山郵便局
 廣島郵便局管轄 備前郵便局
 大分郵便局管轄 大分占電信局
 熊本郵便局管轄 大分占電信局
 仙臺郵便局管轄 大分占電信局
 廣島郵便局管轄 大分占電信局
 宇都宮郵便局管轄 大分占電信局

本表ニ指定スル逓信官署ニ對シテハ明治四十年四月逓信省令第十四號逓信官署經費渡切規則施行細則第一條第一號乃至第三號第六號第七號及第十二號第十三號ノ經費ヲ交付ス

第三號表 指定逓信官署

本表ニ指定スル逓信官署ニ對シテハ明治四十年四月逓信省令第十四號逓信官署經費渡切規則施行細則第一條第一號乃至第七號第十一號乃至第十三號ノ經費ヲ交付ス

三等郵便局 郵便受取所(在清國)

電話所

○逓信省告示第四百三十六號
 今般葡荷牙國ハ明治三十九年十一月三日獨逸國伯林ニ於テ締結セラルル國際無線電信條約ヲ批准シ

明治四十二年四月二日
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百三十七號
 本月十日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十二年四月二日
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百三十八號
 明治四十一年九月逓信省告示第九百十號中篠山郵便局特設電話加入區域ニ左ノ追加シ本月六日

施行ス

明治四十二年四月五日

兵庫縣多紀郡八上村大字糴ヶ坪ノ次ニ
同池上

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百二十九號

本月十日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十二年四月六日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十二年四月六日

逓信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一ダラー	一圓二付	〇九六
暹羅銀	一ダラー	一圓二付	〇九六
暹羅銀	一セント	一圓二付	二六五
暹羅銀	一セント	一圓二付	二六五

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○逓信省告示第四百四十一號

明治三十年月二 逓信省告示第三百五十七號中松江局電話加入區域ニ左ノ追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十二年四月六日

逓信大臣 男爵後藤新平

一、特別加入區域 島根縣八束郡津田村大字西津田ノ下ニ

同古志原字鏡治屋間止口

○逓信省告示第四百四十二號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十二年四月六日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百四十三號

本年三月二十九日限り左記郵便局ニ於ケル郵便物集配事務ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十二年四月六日

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 篠原郵便局

位置 山梨縣北巨摩郡篠原村

承繼局名 小淵澤郵便局

○逓信省告示第四百四十四號

明治三十七年六月逓信省告示第三百十七號外國電報料金表第二表韓國地方ノ部中「新幕」ノ下「米〇三〇」ヲ「〇三〇」ト改メ「西湖津」ノ項ノ次ニ左ノ追加フ

明治四十二年四月七日

逓信大臣 男爵後藤新平

總務局

〇三〇

○逓信省告示第四百四十五號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送

明治四十二年四月 告示 逓信省第四百四十二號 第四百四十三號 第四百四十四號 第四百四十五號

電報ヲモ取扱フ

明治四十二年四月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 柳井郵便局

位 置 山口縣玖珂郡柳井町

○逓信省告示第四百四十六號

明治二十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電報配達事務ヲ開始ス

明治四十二年四月九日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 宇島郵便局

位 置 福岡縣築上郡宇島町

○逓信省告示第四百四十七號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電報配達事務ヲ開始ス

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 宮崎郵便局

位 置 宮崎縣東臼杵郡宮崎村

○逓信省告示第四百四十八號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 股島郵便局

位 置 秋田縣佐伯郡股島町

○逓信省告示第四百四十九號

明治二十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通達加シ本月十一日ヨリ施行ス

逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十二年四月十日

逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十二年四月十日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料
長東京柏崎間ノ次ニ	長東京小千谷間 金九十五錢	金二十錢
長東京十日町間	金九十五錢	金二十錢
長濱濱岩村田間ノ次ニ	長濱濱岩田間 金八十錢	金二十錢
長濱濱長岡間	金一圓	金二十五錢
甲府松本間ノ次ニ	長甲府長岡間 金八十五錢	金二十錢
高崎岩村田間ノ次ニ	長高崎長岡間 金七十錢	金二十錢
長野柏崎間ノ次ニ	長野十日町間 金二十五錢	金十五錢
須坂屋代間ノ次ニ	須坂十日町間 金二十五錢	金十五錢
直江津柏崎間ノ次ニ	直江津十日町間 金二十五錢	金十五錢
直江津小千谷間	直江津小千谷間 金二十五錢	金十五錢
見附五泉間ノ次ニ	見附小千谷間 金二十錢	金十五錢
小千谷十日町間ノ次ニ	小千谷高田間 金二十五錢	金十五錢
小千谷板尾間	小千谷板尾間 金二十錢	金十五錢

第一 通幣爲替「一 直接交換國郵政廳ノ媒介ニ依リ交換スル國」乙 特別條約國郵政廳ノ媒介ニ依ルモノノ部墨西哥合衆國ノ項中「拂渡通知書ヲ請求スルコトヲ得ス」ヲ削ル

○逓信省告示第四百五十八號
本月十六日限り左記電信局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
明治四十二年四月十五日
名 稱 花咲電信局 位置 北海道根室國根室郡根室町 承繼局名 根室郵便局

○逓信省告示第四百五十九號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料電話呼出料中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ施行ス
明治四十二年四月十五日
名 稱 花咲電信局 位置 北海道根室國根室郡根室町 承繼局名 根室郵便局

明治四十二年四月十五日

「龜崎大高間」ノ次ニ

加入區域外	電話料	一回ノ電
龜崎四尾間	金 十 錢	金 十 錢
龜崎一色間	金 十 錢	金 十 錢
半田四尾間	金 十 錢	金 十 錢
半田一色間	金 十 錢	金 十 錢

○逓信省告示第四百六十號

本月十五日限り左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
明治四十二年四月十六日
名 稱 湯島郵便局 位置 東京都加賀區湯島上村 承繼局名 湯島郵便局

○逓信省告示第四百六十一號
明治四十年九月逓信省告示第五百五十五號羅馬締結萬國郵便條約施行規則第四條各國貨幣佛貨相當

額表中亞然の音(共和國)ノ項「十五山」及「十山」ヲ欄ヲ夫夫左ノ通改正ス

明治四十二年四月十六日

七サンタゾ

五サンタゾ

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百六十二號

明治四十年九月逓信省告示第五百五十八號羅馬締結小包郵便物交換條約施行規則第二條各國貨幣佛貨相當額表中亞然の音共和國ノ項ヲ左ノ通改正ス
明治四十二年四月十六日
二十三サンタゾ

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百六十三號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ取扱フ
明治四十二年四月十七日
名 稱 日田郵便局 位置 大分縣日田郡日田町

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百六十四號

本月二十一日ヨリ左記電話局ヲ設置ス但シ電話交換業務ハ本月二十六日ヨリ之ヲ開始ス
明治四十二年四月十七日
名 稱 南電話局 位置 大阪府南區具攝橋筋三丁目

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百六十五號

明治四十一年三月逓信省告示第二百三十九號外國小包郵便料金表(第一 郵便料金及隨意規定事項ノ部)中智利及白露ノ各項ヲ左ノ通改正ス
明治四十二年四月十九日
逓信大臣 男爵後藤新平

逓信大臣 男爵後藤新平

名宛國	送達	船名	開出日	船種	郵便物	代金引換	小包	附註
利	直接交	船	○	○	○	○	○	○
	換接交	船	○	○	○	○	○	○
白	直接交	船	○	○	○	○	○	○
	換接交	船	○	○	○	○	○	○

○逓信省告示第四百六十六號
 本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取
 扱フ
 明治四十二年四月二十日
 名宛 防府郵便局 位置 山口縣佐波郡防府町
 ○逓信省告示第四百六十七號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
 逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十二年四月二十日

逓信大臣 男爵後藤新平

幣	香港洋銀	銀
一セント	一ダラー	八六三三
一セント	一ダラー	八六三三
一セント	一ダラー	八六三三
一セント	一ダラー	八六三三

○逓信省告示第四百六十八號
 本月二十二日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス
 明治四十二年四月二十一日
 現名稱 現在 位置 改稱 移轉 位置
 川尻郵便局 靜岡縣藤原郡吉田村大字川尻 官田郵便局 靜岡縣藤原郡吉田村大字片岡
 ○逓信省告示第四百六十九號
 明治四十年九月逓信省告示第五百七十六號本邦ト代金引換書留郵便物ヲ交換スル國名表中獨領南西
 亞弗利加ノ項取扱局リニエテリツツフトノ次ニマルタヘーヘヲトゴノ項取扱局ロメノ次ニ
 ソコデヲ加フ
 明治四十二年四月二十三日
 逓信大臣 男爵後藤新平
 ○逓信省告示第四百七十號
 帆船方圓丸外五十四艘ニ左ノ信號符字ヲ附ス
 明治四十二年四月二十四日
 信號符字 番 號 種 類 船 名
 L F Q S 七〇二八 帆船 丸 大 船 取 港 市 植 松 新 十 郎
 明治四十二年四月 告示 逓信省第四百六十八號 第四百六十九號 第四百七十號 七〇七

○逓信省告示第四百七十五號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域中左記區域ヲ長距離トシ來五月一日ヨリ施行ス

明治四十二年四月二十八日
小樽旭川間 小樽室蘭間
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百七十六號
岡山縣兒島郡味野町ニ於テ同町沖合地蔵ヶ瀬ノ位置ヲ示ス爲メ左記ノ浮標ヲ設置ノ旨同縣ヨリ報告セリ

明治四十二年四月二十八日
地蔵ヶ瀬浮標
逓信大臣 男爵後藤新平

- 一位 位 岡山縣兒島郡味野町沖地蔵ヶ瀬上
- 一構造及著色 鐵造圓錐形、目標球形、紅黑橫線塗
- 一水面上ノ高 約三尺
- 一水深 大低潮時約一尋半
- 一方 位 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

久須見鼻東端ハ 南四度四十三分西
龍王山ハ 北八十二度十分西
豎場島頂ハ 南五十五度二十五分東

○逓信省告示第四百七十七號
明治四十年九月逓信省告示第五百七十四號諸外國宛通常郵便物料金表備考(己)清國內ニ於テ聯合國

郵便局經由送達ヲ要スル各地中海拉爾及寧古塔ヲ削除ス

明治四十二年四月二十九日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百七十八號
電話至急開通ノ申請ヲ受付クヘキ郵便局、豫定箇數及其ノ期間並至急開通料左ノ如シ

郵便局	豫定箇數	受付期間	至急開通料
東京	二千二百箇	自五月十五日	百八十五圓
大阪	千五百箇	至五月二十五日	百八十五圓
名古屋	六百箇	同上	百五十圓
京都	六百箇	同上	百五十圓
神戶	七百五十箇	同上	百五十圓
機張	二百五十箇	同上	百五十圓

○逓信省告示第四百七十九號
明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通道加シ來五月一日ヨリ施行ス

明治四十二年四月三十日
逓信大臣 男爵後藤新平

新津五泉間ノ次ニ	加入區域外通話區域	電話料	一回ノ電話呼出料
新津今町間	金二十錢		金十五錢
今町登間	金二十五錢		金十五錢
今町五泉間	金二十錢		金十五錢
今町柏崎間	金二十錢		金十五錢
今町小千谷間	金二十錢		金十五錢

○逓信省告示第四百八十號

明治三十七年六月逓信省告示第三百十七號外國電報料金表第四表 South America (南亞米利加地方)ノ部中左ノ通改メ來五月一日ヨリ施行ス

明治四十二年四月二十日

逓信大臣 男爵後藤新平

Bolivia (ボリビア)	Peru (ペルー)	Chile (チリ)	Argentina (アルゼンチン)	Uruguay (ウルグアイ)	Paraguay (パラグアイ)	Colombia (コロンビア)	Venezuela (ベネズエラ)	Guatemala (グアテマラ)	El Salvador (エルサルバドル)	Honduras (ホンジュラス)	Nicaragua (ニカラガ)	Costa Rica (コスタリカ)	Panama (パナマ)	Yucatan (ユカタン)	Mexico (メキシコ)	Other places (其他各地)
5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000

○統監府告示第二十五號 (官報 四月六日) 韓國政府ハ隆熙三年三月十八日法律第十號ヲ以テ漁業税法ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十二年三月三十日

統監代理 副統監 子爵曾根荒助

漁業税法

第一條 漁業法ニ依リ漁業ヲ營ム者ニハ本法ニ依リ漁業税ヲ課ス 免許漁業者其ノ漁業權ヲ擔保ニ供シ又ハ他ニ貸付スルモ漁業税ハ免許漁業者ニ於テ納付ス

第二條 漁業税ハ漁業法ニ掲グル漁業ノ種別ニ從ヒ毎年左ノ税率ニ依リ之ヲ徵收ス

- 一 第一種第三種第四種及第五種ノ免許漁業 採捕物價格一百圓迄毎ニ 金一圓
- 二 第二種免許漁業 區劃水面一千坪迄毎ニ 金一圓
- 三 第一種許可漁業(漁業法第九條第一號ノ漁業) 一曳網類 一漁具毎ニ 金十圓 一小地曳網類 同 金三圓
- 四 第二種許可漁業(漁業法第九條第二號ノ漁業) 一汽力ニ依ル底曳網類 汽船總噸數百噸以上ノモノ 一隻毎ニ 金百五十圓 同百噸未満ノモノ 同 金七十五圓 一風力又ハ潮流ニ依ル底曳網類 一漁具毎ニ 金六圓 一小打網類 一漁具毎ニ 金三圓
- 五 第三種許可漁業(漁業法第九條第三號ノ漁業) 一捲網類 一漁具毎ニ 金十一圓 一繰網類 同 金四圓 一小手繰網類 同 金二圓
- 六 第四種許可漁業(漁業法第九條第四號ノ漁業) 一潛水器一臺毎ニ 金十五圓

七 第五種許可漁業(漁業法第九條第五號ノ漁業)

- 一 飼附漁業 金十圓
- 一 漁場築磯漁業 金五圓

八 第一種申告漁業

- 一 漁船毎ニ 金四圓

九 第二種申告漁業

- 一 漁船毎ニ 金三圓

十 第三種申告漁業

- 一 漁船ヲ使用スルモノ 一漁船毎ニ 金一圓
- 一 漁船ヲ使用セサルモノ 一漁業者毎ニ 金五十圓

前項第一號ノ採捕物價格ハ假令金額ニ依ル但シ二箇年以上ノ免許期間ヲ有スル免許漁業者ノ二年目以後ニ於ケル採捕物價格ハ前年中ノ採捕物價格ニ依ルコトヲ得

農商工部大臣ハ未タ何人モ漁業法第二條ニ規定スル漁業ヲ營ミタルコトナキ水面ニ於テ新ニ第二種免許漁業ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ五年以内ノ期間ヲ限リ第一項第二號ノ稅率ヲ減少スルコトヲ得

免許漁業者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ漁業ヲ爲ササルコト共ノ年ノ全部ニ互リタルトキハ當該年分ノ漁業稅ヲ免除ス

- 一 漁業法第六條ニ依リ漁業權ヲ停止セラレタルトキ
- 二 農商工部大臣ノ認可ヲ得テ漁業ニ著手セサルカ又ハ休業シタルトキ
- 三 漁業法第七條第一項第一號ノ期間以内ノ休業ヲ爲シ前年中ニ其ノ旨ヲ政府ニ申告シタルトキ

第三條 左ノ漁業稅ハ免許狀、許可狀又ハ鑑札ヲ交付スルトキ之ヲ納付スヘシ

一 免許漁業者ニ在リテハ免許初年分ノ稅額

二 許可及申告漁業者ニ在リテハ許可狀又ハ鑑札ノ有効期間ニ相當スル全稅額

二箇年以上ノ期間ヲ有スル免許漁業者ノ二年目以後ニ於ケル漁業稅ノ納期ハ毎年四月末日限トス

第四條 漁業者廢業其ノ他ノ事故ニ因リ免許狀、許可狀又ハ鑑札ノ效力ヲ失フモ既納ノ稅金ハ還付セス

第五條 免許漁業者ハ毎年一月三十一日限リ前年中ニ於ケル採捕物ノ種類、數量及價格ヲ政府ニ申告スヘシ

第六條 二箇年以上ノ期間ヲ有スル免許漁業者ニシテ韓國内ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ漁場所在地ヲ管轄スル財務署所管内ニ納稅代理人ヲ定メ免許狀ヲ受ケタル際政府ニ申告スヘシ代理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七條 財務官吏ハ漁具、漁船又ハ漁業ニ關スル書類ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第八條 漁業稅ヲ脫稅シタル者ハ脫稅額五倍ノ罰金ニ處ス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 虛欺ヲ以テ第二條第四項第三號ノ申告ヲ爲シタルトキ

二 第五條又ハ第六條ノ申告ヲ怠リ又ハ詐リタルトキ

三 財務官吏ノ職務執行ヲ拒ミ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタルトキ但シ刑法大全ニ正條アルモノハ其ノ規定ニ依ル

附則 本法ハ漁業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

光武十年勅令第八十三號水産稅規則ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
 漁業法第十六條第四項ニ依リ漁業ヲ營ムコトヲ得ル者ニ對シテハ其ノ期間内ニ限リ水産稅規則
 ハ尙其ノ效力ヲ有ス但シ漁業法ニ依リ免許許可又ハ鑑札ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 漁業法第十六條第二項ニ依リ漁業ヲ營ム者ニハ本法ニ依ル漁業稅ヲ課セス
 ○統監府告示第二十六號(官報四月六日)
 韓國政府ハ隆熙三年三月十九日度支部令第十一號ヲ以テ漁業稅法施行細則ヲ公布セリ其ノ譯文左
 ノ如シ

明治四十二年三月三十日

統監代理 子爵曾禰荒助

漁業稅法施行細則

- 第一條 稅法第二條第三項ニ依リ稅率ノ減少ヲ得ムトスル者ハ未タ何人モ漁業法第二條ニ規定
 スル漁業ヲ營ミタルコトナキ水面ナルコトヲ證明シ免許出願官廳ヲ經由シテ度支部大臣ニ請
 願スヘシ
- 第二條 稅法第二條第四項第三號ニ依リ漁業稅ノ免除ヲ得ムトスル者ハ休業ノ始期及終期ヲ記
 載シタル申告書ヲ休業ノ際度支部大臣ニ提出スヘシ
- 第三條 稅法第五條ノ申告書ハ漁場ヲ所管スル財務署ニ提出スヘシ
- 第四條 稅法第六條ノ申告書ハ代理人ト連署シ度支部大臣ニ宛テ免許狀ノ交付ヲ爲ス官廳ニ提
 出スヘシ
- 代理人ヲ變更シタルトキハ通滞ナク度支部大臣ニ申告スヘシ
- 第五條 稅法第二條第二項但書ニ依ルヘキ場合ニ於テハ財務署長ハ漁業者ノ前年中ニ於ケル採
 捕物價格ヲ決定シ毎年納期前之ヲ漁業者ニ通知スヘシ但シ漁業者ノ申告シタル採捕物價格ヲ

是認セシモノニ付テハ通知ヲ要セス

- 第六條 漁業稅ハ別記様式ノ納付書ニ收入印紙ヲ貼附シテ免許狀 許可狀又ハ鑑札ヲ交付シタ
 ル官廳ニ提出スヘシ
- 稅法第三條第二項ノ納期ニ於テ納付スヘキ場合ニ於テハ所管財務署長ヨリ送付スル納入告知
 書ニ添附シ納付書ニ收入印紙ヲ貼附シテ當該財務署ニ提出スヘシ
- 前二項ノ場合ニ於テハ納付者ハ印紙ノ彩紋ト納付書ノ紙面トニ互リ明白ニ印章ヲ捺スヘシ
- 第七條 漁業稅ヲ滯納スル者ニ對シテハ財務官更ハ國稅徵收法ニ依リ督促書ヲ發シ又ハ滯納處
 分ヲ爲スコトヲ得
- 第八條 府尹又ハ郡守ニ於テ申告漁業ノ鑑札ヲ交付スルトキハ之ト引換ニ第六條ノ納付書ヲ提
 出セシメ遲滞ナク所管財務署ニ送付スヘシ

附則 本令ハ漁業稅法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

申告場 合	漁業ノ種別 (第一種) (第二種) (第三種)	採捕物區劃水面 檢査格付 數	稅率 (一) 一般ニ付 四圓 (二) 又ハ人コ付 五圓	鑑札有效期間 (一) 陸曆何年何月何日ヨリ (二) 年何月マテ何箇年
免許及 許可場 合	漁業ノ種別 (第一種) (第二種) (第三種)	採捕物區劃水面 檢査格付 數	稅率 (一) 一般ニ付 四圓 (二) 又ハ人コ付 五圓	鑑札有效期間 (一) 陸曆何年何月何日ヨリ (二) 年何月マテ何箇年
漁業稅納付書	免許 許可 又ハ鑑札 番號	免許 許可 又ハ鑑札 番號	免許 許可 又ハ鑑札 番號	免許 許可 又ハ鑑札 番號

右納付 價也

年 月 日

度支部大臣閣下

住所 姓 名

印紙 印紙 印紙

備考 滙票ノ種類以下ノ各欄ハ現狀詳可狀又ハ鑑札ノ交付ヲ爲ス官廳ニ於テ記入ス

○統監府告示第二十七號(官報 四月六日)
 韓國政府ハ隆熙三年三月十五日法律第九號ヲ以テ裁判所設置法中改正ノ件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如ク

明治四十二年三月三十日

統監代理 子爵曾禰荒助

裁判所設置法中左ノ通改正ス
 一 公州地方裁判所管內遼山區裁判所ヲ恩津區裁判所ニ改正シ同管轄地名ヲ恩津遼山ニ改正ス

附則 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府告示第二十八號(官報 四月六日)
 統監府公報ハ京城日報社ヲレテ每週土曜日之ヲ發行セシム但シ臨時ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
 購讀希望者ハ京城日報社ニ就キ購讀スヘシ一部代金ハ四錢トス

明治四十二年三月三十日

統監代理 子爵曾禰荒助

○統監府告示第二十九號(官報 四月二十四日)
 明治四十二年四月十一日ヨリ左記郵便所名及其ノ位置名稱ヲ下記ノ通改ム

明治四十二年四月十日

統監代理 子爵曾禰荒助

所 現	所 改
大邱西門外郵便所	大邱西門外郵便所
慶尙北道大邱郡 西上面東山里	大邱本町郵便所
	大邱本町二丁目

○統監府告示第三十號(官報 四月二十四日)
 在韓國外國人民ニ對スル警察事務ニ關シ明治四十二年三月十五日ヲ以テ統監府及韓國政府ニ於テ左ノ協定ヲ爲シ

明治四十二年四月十日

統監代理 子爵曾禰荒助

在韓國外國人民ニ對スル警察事務ニ關シテハ韓國警察官ハ當該日本國官憲ノ指揮監督ヲ受クヘシ
 ○統監府告示第三十一號(官報 四月二十四日)
 韓國政府ハ隆熙三年三月三十一日勅令第四十三號ヲ以テ家屋稅法ニ依リ市街地指定ニ關スル件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如ク

明治四十二年四月十日

統監代理 子爵曾禰荒助

隆熙三年法律第二號家屋稅法第一條第三項ニ依リ市街地ヲ左ノ如ク指定ス

India (Via Bhamo)
India (一付郵券)
India (Via Koulmeih)
India (一付郵券)

○臺灣總督府告示第四十三號 (官報 四月七日)
明治三十五年七月告示第九十二號臺灣總督府農事通信委員通信手續ハ明治四十二年三月三十一日限之ヲ廢止ス

明治四十二年三月三十一日

臺灣總督 伯露佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第四十四號 (官報 四月七日)

明治三十四年十一月告示第四百二十三號中阿片煙膏ノ保管並藥品試驗及ヲ削ル

臺灣總督 伯露佐久間左馬太

〔參照〕

明治三十四年四月十五日告示第四百三十三號ハ臺灣總督府農事通信委員通信手續ハ明治四十二年三月三十一日限之ヲ廢止ス

○臺灣總督府告示第四十五號 (官報 四月七日)

臺灣總督府研究所分室ヲ臺南廳臺南市ニ置キ藥品ノ試驗ニ關スル事務ノ一部ヲ分掌セシム

明治四十二年四月一日

臺灣總督 伯露佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第四十六號 (官報 四月七日)

臺中廳大肚上堡沙鹿庄ノ内土名沙鹿庄ヲ牛屎頭郵便局ノ電報直配達區内ニ編入ス

明治四十二年四月一日

臺灣總督 伯露佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第四十七號 (官報 四月七日)

明治三十六年法律第五號粗製樟腦樟腦油專賣法第三條ニ依ル補償金新竹廳下ノ分ヲ左ノ通定メ明治四十二年五月十日以後ノ納付品ニ之ヲ適用ス

明治四十二年四月一日

臺灣總督 伯露佐久間左馬太

製 品 地 區 別	納 付 所 別			
	臺灣總督府專賣局	同基陸出張所	新竹廳管内一圓	三六〇〇
粗製樟腦百斤ニ付	上等	三六〇〇	二九〇〇	二六〇〇
	中等	三六〇〇	二九〇〇	二六〇〇
	下等	三六〇〇	二九〇〇	二六〇〇
樟腦油百斤ニ付	上等	三六〇〇	二九〇〇	二六〇〇
	下等	三六〇〇	二九〇〇	二六〇〇

○臺灣總督府告示第四十八號 (官報 四月十三日)

田中央停車場構内ニ田中央電信取扱所ヲ設置シ明治四十二年四月十日ヨリ公衆電報ヲ取扱フ

明治四十二年四月二日

臺灣總督 伯露佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第四十九號 (官報 四月十六日)

明治四十二年四月一日ヨリ明治四十一年三月告示第三十五號臺灣小學校名稱及位置中風山尋常高等小學校ノ次ニ校種仔墩分教場 鳳山廳鳳山下里港仔境庄ヲ加フ

明治四十二年四月八日

臺灣總督 伯露佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第五十號 (官報 四月十六日)

明治四十二年四月十日ヨリ左記郵便局所ニ於テ電話通信事務ヲ開始ス

明治四十二年四月八日

臺灣總督 伯露佐久間左馬太

大甲郵便局 三叉河郵便出張所 楠仔坑郵便出張所

○臺灣總督府告示第五十一號 (官報 四月十六日)

明治三十七年十一月告示第四百十五號電話呼出地域ニ左ノ追加ス

明治四十二年四月八日

臺灣總督 伯露佐久間左馬太

同表 Africa (亞非利加地方)ノ部 Tangier (タンジマー)ノ項ヲ削リ Mauritius (モーリシウス) (Via Europe)ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

Tanger (タンジマー) MORIO
Casablanca (カサブタン) MORIO
Mogador (モガドール) MORIO
Rabat (ラバト) MORIO

第四表 South America (南亞米利加地方)ノ部 Requena (レケナ)ノ項ノ次ニアル記事ヲ左ノ如ク改

*此ノ地ニ宛テ電報ニシテ「アローラ、ヘルナンデスコ、ビエホンス、ニールス、マルバライゾ、リヤ、リヤ」ヲ經テ傳送スルニハ「Via Madalena」ヲ經テ「アローラ、ヘルナンデスコ、ニールス、ビエホンス、マルバライゾ、リヤ」ヲ經テ傳送スルニハ「Via Dalahna」ヲ經テ「アローラ、ヘルナンデスコ、ニールス、ビエホンス、マルバライゾ、リヤ」ヲ經テ傳送スルニハ「Via Penorhany」ナル指定ヲ附入スルヲ要ス

○臺灣總督府告示第五十八號 (官報 四月二十七日)
斗六ニ地方税金取扱所ヲ設置シ明治四十二年四月二十五日ヨリ合資嘉義銀行斗六出張所ヲシテ斗六廳ノ地方税金ヲ取扱ハシム

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第五十九號 (官報 四月三十日)
臺灣總督府研究所位置左ノ通相定ム

臺北廳大加納堡三板橋庄土名東門外

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第六十號 (官報 四月三十日)
明治二十九年八月府令第二十六號非常通信規則施行細則ニ依リ巴聖衛郵便出張所ヲシテ當分ノ内郵便及電信ニ關スル非常通信事務ヲ取扱ハシム

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十二年四月二十三日

○關東都督府告示第十八號 (官報 四月一日)
明治四十二年三月二十日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

關東都督 子爵大島義昌

明治四十二年三月二十日

名稱 營口番市街日本電信取扱所 位置 滿洲營口番市街

○關東都督府告示第十九號 (官報 四月一日)
明治四十二年三月二十日ヨリ營口電信局ヲ滿洲營口新市街ニ移轉ス

關東都督 子爵大島義昌

明治四十二年三月二十日

○關東都督府告示第二十號 (官報 四月一日)
明治四十二年三月十九日限り左記出張所ヲ廢止シ當該出張所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記電信局之ヲ繼承ス

關東都督 子爵大島義昌

明治四十二年三月二十日

出張所名 營口電信局新市街出張所 繼承所名 營口電信局

明治四十二年四月 告示 臺灣總督府第五十九號 第六十號 關東都督府第十八號 第十九號 第二十號 七三三

○關東都督府告示第二十一號(官報 四月三日)
關東都督府警察官防水外套製式左ノ通定

明治四十二年三月二十二日

關東都督 子爵大島義昌

關東都督府警察官防水外套製式圖例

地 實 型
通背外垂形左胸ニ一箇右脇下ニ一箇ノ蓋付物入ヲ付シ左脇下部切明ク五寸、袖ハ長サ兩腕指頭ニ至ル形狀開
黒防水布裏腹膜ノ如シ
頭巾ハ前口縷頭巾トス形狀圖ノ如シ
(防水外套)



○關東都督府告示第二十二號(官報 四月九日)

關東都督府中學校ノ名稱位置左ノ通定、明治四十二年五月一日ヨリ授業ヲ開始ス

明治四十二年三月二十六日

關東都督 子爵大島義昌

名 稱 關東都督府中學校 位 置 旅順竹園町

○關東都督府告示第二十三號(官報 四月九日)
明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

改 名 稱 位 置

大連第一尋常高等小學校 大連東公園通

旅順第一尋常高等小學校 旅順白金町

旅順第二尋常高等小學校 旅順對馬町

現 名 稱 位 置

大連尋常高等小學校 大連

旅順尋常高等小學校 旅順

旅順尋常高等小學校 旅順

關東都督府告示第二十四號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

名 稱 位 置

大連第二尋常高等小學校 大連北大山通

大連第一尋常高等小學校 柳樹也分教場

金州尋常高等小學校 鏡子分教場

金州尋常高等小學校 普蘭店分教場

關東都督府告示第二十五號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

名 稱 位 置

關東都督府告示第二十六號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

名 稱 位 置

關東都督府告示第二十七號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

名 稱 位 置

關東都督府告示第二十八號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

名 稱 位 置

關東都督府告示第二十九號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

名 稱 位 置

關東都督府告示第三十號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

名 稱 位 置

關東都督府告示第三十一號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

名 稱 位 置

關東都督府告示第三十二號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日
關東都督 子爵大島義昌

名 稱 位 置

名 稱 長春城日本電信取扱所 位 置 滿洲長春城內

○關東都督府告示第二十七號(官報 四月九日)

明治四十二年三月二十九日限り左記出張所ノ電信事務取扱ヲ廢止シ當該出張所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記電信取扱所之ヲ繼承ス

明治四十二年三月二十九日

關東都督 子爵大島義昌

出張所名 長春郵便局長春城出張所

繼承所名 長春城日本電信取扱所

○關東都督府告示第二十八號(官報 四月九日)

明治四十二年三月三十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

明治四十二年三月三十一日

關東都督 子爵大島義昌

名 稱 安東縣野市街日本電信取扱所 位 置 滿洲安東縣野市街

○關東都督府告示第二十九號(官報 四月九日)

明治四十二年三月三十日限り左記出張所ノ電信事務取扱ヲ廢止シ當該出張所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記電信取扱所之ヲ繼承ス

明治四十二年三月三十一日

關東都督 子爵大島義昌

出張所名 安東縣野市街安東縣野市街出張所

繼承所名 安東縣野市街日本電信取扱所

○關東都督府告示第三十號(官報 四月九日)

旅順水道船舶給水日本海軍ニ屬シ明治四十一年十月一日ヨリ同四十二年三月三十一日迄旅順乃木町四丁目七番地氏家嘉作ヲシテ取扱ハシメタル處尙明治四十二年四月一日ヨリ同四十二年三月三十一日迄左記ノ料金を以テ同人ヲシテ之ヲ取扱ハシム

明治四十二年三月三十一日

關東都督 子爵大島義昌

一 一立方メートル付金三十五錢以内

一 一立方メートル未満半立方メートル以上ハ金三十五錢以内
一 半立方メートル未満ハ金二十錢以内

○關東都督府告示第三十一號(官報 四月九日)

明治四十二年三月三十一日號經費渡切指定ノ通信官署中ニ左記郵便局及出張所ヲ追加ス

明治四十二年四月一日

關東都督 子爵大島義昌

添天郵便局

添天郵便局大西出張所

○關東都督府告示第三十二號(官報 四月二十日)

明治四十二年度請願調査費ハ年額金五百四十圓トス但シ通譯兼掌者ヲ指定シテ出願シタルトキハ其ノ費用又請願者ノ爲ニシテ旅行ニ對シテハ警察官吏旅費規則ニ依ル旅費ヲ加徴ス

明治四十二年四月八日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第三十三號(官報 四月二十四日)

旅順乃木町二丁目十一番戸陳鳳和所有ノ食用牛一頭及同嶺島町一丁目番外村上鶴藏所有ノ食用牛二頭ハ何レモ本月十日頃旅順大工町牛舎ニ於テ流行性器口瘡ニ罹リ目下隔離中ナリ

明治四十二年四月十五日

關東都督 子爵大島義昌

○日英博覽會事務局告示第一號

日英博覽會出品規則左ノ通相定ム

明治四十二年四月二十七日

日英博覽會總裁 男爵大浦兼武

日英博覽會出品規則

第一條 明治四十三年五月一日ヨリ同年十月三十一日迄英國倫敦ニ於テ開設スル日英博覽會ニ出品セムトスル者ハ本則ニ依ルベシ

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ出品スルコトヲ得ス

一 明治三十二年十二月以前ニ於テ採取產出加工製作又ハ製造シタルモノ但シ養成ニ係ル動物ハ此ノ限ニ在ラス

二 風俗若ハ秩序ヲ紊リ又ハ衛生ヲ害スル虞アリト認ムルモノ

三 他ニ損害ヲ及ボシ又ハ公衆ニ嫌忌ノ感ヲ與ヘ又ハ危險ノ虞アリト認ムルモノ

四 前各號ニ掲グルモノノ外物品ノ種類性質等ニ依リ出品ノ價值ナシト認ムルモノ

第三條 發火爆裂其ノ他危險ノ虞アルモノハ包裝又ハ模型ヲ以テ出品スルコトヲ得

第四條 農業園藝林業鑛業及水産業ニ屬スル物品ハ事務局ニ於テ指定シタル者ニ限り出品スルコトヲ得

第五條 出品セムトスル者ハ美術品ヲ除クノ外第一號書式ノ願書ニ一部毎ニ作リタル第二號書式ノ出品概目録三通ヲ添ヘ明治四十二年八月三十一日迄ニ地方長官ニ差出スヘシ

一 出品人ニ於テ產地ニ府縣以上ニ互ル同種ノ物品ヲ出品セムトスル場合又ハ二府縣以上ニ互ル同業者カ合同シテ出品セムトスル場合ニ於テハ前項ノ期限迄ニ願書及出品概目録ヲ事務局ニ差出シ且ツ其ノ旨ヲ關係地方長官ニ届出ツヘシ

第六條 地方長官ハ出品願書ヲ取纏メ前條第一項ノ期限後十五日以内ニ事務局ニ送付スヘシ

第七條 美術品ヲ出品セムトスル者ハ第三號書式ノ願書ニ第二號書式ノ出品概目録三通ヲ添ヘ明治四十二年九月十五日迄ニ事務局ニ差出スヘシ

他人ノ製作ニ係ル美術品ヲ出品セムトスルトキハ製作者ノ氏名ヲ出品願書及出品概目録ニ明記スヘシ

第八條 特ニ工事ヲ要スル出品ヲ爲サムトスル者ハ設計書及圖面ヲ出品願書ニ添付スヘシ

水瓦斯又ハ電氣ヲ要スル出品ヲ爲サムトスル者ハ其ノ種類使用ノ目的及數量ヲ出品願書ニ記載スヘシ

第九條 第七條ノ出品出願人ハ其ノ出願ニ係ル物品ノ鑑査ヲ受ケル爲明治四十二年十二月一日ヨリ同月五日迄(午前八時ヨリ午後四時迄)ニ第四號書式ノ解説書三通ヲ添ヘ其ノ物品ヲ事務局指定ノ場所ニ搬入スヘシ

鑑査ヲ受ケヘキ物品ノ荷造運搬等ニ要スル費用ハ出品出願人ノ負擔トス

第十條 第五條ノ出品出願人ニシテ出品ノ許可ヲ受ケタル者ハ第五號書式ノ出品入記目録三通ヲ製シ解説書三通ヲ添ヘ出品物輸出五日前迄ニ事務局ニ差出スヘシ

第十一條 解説書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 氏名
- 二 住所
- 三 品名
- 四 產地又ハ製造地
- 五 一箇年間ノ産額又ハ製造額
- 六 外國ヘノ輸出額及輸出先
- 七 工場及職工ノ數
- 八 物質製法用途效能及特徴
- 九 協賛人アルトキハ其ノ氏名
- 十 内外博覽會又ハ共進會ニ於テ受領シタル褒賞

前項各號ノ外審査ヲ受ケルニ必要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

第十二條 出品物ノ輸出ハ明治四十二年二月十五日ヲ限リトス

第十三條 事務局ハ出品物ノ紛失其ノ他ノ損害ニ對シテハ一切其ノ責ニ任セス

第十四條 出品ノ陳列ニ要スル一定ノ陳列箱、陳列臺及一般ノ裝飾ニ限リ事務局ノ費用ヲ以テ之ヲ調製スベシ但シ出品人ノ自辨ヲ以テ設備ヲ爲スコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於テハ出品人ハ第五條ノ出品願書ニ設計書ヲ添ヘ願出ツヘシ

美術品ノ出品ニ要スル運賃、保険料及陳列、裝飾ニ關スル費用ハ事務局ニ於テ之ヲ支出スヘシ但シ出品人ノ自辨ヲ以テ特殊ノ陳列、裝飾ヲ爲スコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於テハ出品出願ノ際事務局ニ届出ツヘシ

第十五條 出品人自ラ出品ノ輸送陳列、裝飾、管理及積戻等ノ事務ヲ處理セサルトキハ別ニ其ノ管理ヲ定ムヘシ

第十六條 事務局ハ全國ヲ通シテ一團體ヲ爲セル出品管理者ヲシテ事務局ノ認可ヲ受ケタル者ニ限リ相當ノ補助金ヲ給ス

前項ノ團體ハ出品人ヨリ出品ニ關スル事務ノ管理ヲ委託セラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十七條 出品人自ラ出品ニ關スル事務ヲ處理スルガ又ハ前條ノ團體ニ非サル管理者ヲ定メタルトキハ其ノ旨ヲ事務局ニ届出ツベシ

第十八條 出品人及出品管理者ハ出品ニ關スル一切ノ事項ニ付事務局ノ指揮監督ヲ受クヘシ

第十九條 事務局ハ必要ト認ムルトキハ陳列又ハ裝飾ノ變更ヲ命ズルコトアルヘシ

第二十條 出品人ハ其ノ陳列場所ニ於テ見本、引札等ヲ無償ニテ觀覽人ニ配付スルコトヲ得

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ出品ノ輸出若ハ陳列ヲ差止メ又ハ適宜ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

一 許可セサル物品ヲ出品シタルトキ

二 許可シタル數量以上ノ出品ヲ爲シタルトキ

三 出品カ腐敗融解等ヲ爲陳列ニ適セスト認ムルトキ

四 本則其ノ他日英博覽會ニ關スル諸規則又ハ命令ニ違背シタルトキ

第二十二條 出品ハ事務局ノ命令又ハ許可ニ依ル場合ヲ除クノ外閉會迄之ヲ撤去スルコトヲ得

第二十三條 本則其ノ他日英博覽會ニ關スル諸規則、命令又ハ處分ニ對シ出品人ハ異議ノ申立ヲ爲シ又ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十四條 本則其ノ他日英博覽會ニ關スル諸規則ハ必要ト認ムルトキハ其ノ規定ヲ變更シ又ハ追加スルコトアルヘシ

第二十五條 出品人ハ本則其ノ他日英博覽會ニ關スル諸規則及命令並シニパーツ、ブッシニ博覽會會社ノ發布スル諸規則ヲ遵守スヘシ

出品人ニシテ前項ノ規則又ハ命令ニ依ル義務ヲ履行セサルトキハ事務局ハ適宜ノ處分ヲ爲シ且ツ之カ爲ニ要シタル費用ヲ本人ヨリ追徴スルコトアルヘシ

第一號書式(英語紙半折)

出品願

私儀日英博覽會ニ關スル内外ノ諸規則ヲ遵守シ別紙目錄ノ通出品致度候間御許可相成度此段相願候也

住所及職業

年 月 日

氏 名

日英博覽會總裁露氏名殿

第二號書式(英語紙半折)

出品概目録

第 部	住 所	職 業	出 品 人 氏 名	
			氏 名	名
番 號	品 名	實 形 狀 模 樣	數 量	陳 列 容 積 概 價
合 計				

備 考

- 一本紙ハ各出品人一部毎ニ之ヲ附スヘシ
- 一番號ハ各出品人一部毎ニ之ヲ附スヘシ
- 一品名ハ出品ノ本名ヲ記シ方名譯名等アルモノハ之ヲ附記スヘシ
- 一數量ハ出品ニ對スル價用ノ稱ヲ以テ之ヲ記スヘシ
- 一容積ハ長何尺厚何尺ト記スヘシ
- 一非賣品ハ概價ノ欄内ニ非賣品ト記スヘシ
- 一目録ハ一部毎ニ取纏メ一冊トナスヘシ
- 一品名ノ合計ニハ點數ヲ記スヘシ

第三號書式(美濃紙半折)

美術品出品願

私備日英博覽會ニ關スル内外ノ諸規則ヲ遵守シ別紙目録ノ通出品致度候間審査ノ上御許可相成度此段相願候也

年 月 日

氏 名 印

日英博覽會總裁爵氏名殿

第四號書式(美濃紙)

解 說 書

番 號	品 名	住 所	職 業	氏 名
命題ノ說明 傳記考證其ノ他命題ノ由來ヲ記スヘシ				
履 歴 流派師匠其ノ他修業履歴ヲ記スヘシ				
破 費 從來破費ヲ受ケタル年月 破費ノ種類及博覽會若ハ共進會名ヲ記スヘシ 前各項ノ外美術工管品ニ在リテハ第十一條ノ規定ヲ參照シ破費又ハ附註ヲ受ケタルニ於テ必要ト認ヘル事項ハ總テ之ヲ明確ニ記載スヘシ				

備 考

- 一協賛人アルトキハ其ノ住所、氏名及其ノ履歴並參典ノ事實ヲ記載スヘシ
- 一他人ノ製作ニ係ル美術品ナルトキハ製作者ノ住所、氏名及其ノ履歴ヲ記載スヘシ

第五號書式(美濃紙半折)

明治四十二年四月 告示 日英博覽會事務局第一號

七四三

前項期間内ニ物品ヲ搬出セサルトキハ事務局ニ於テ出品出願人ノ費用ヲ以テ相當ノ處分ヲ爲ス

第十三條 事務局ハ鑑査品ノ保管ヲ爲スト雖其ノ紛失又ハ損害ニ對シ一切其ノ責任ニ任セス
第十四條 事務局ハ鑑査品ヲ撮影若ハ模寫シ又ハ之ヲ印刷シテ發賣スルモ出品出願人ハ之ニ對シ
異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

○日英博覽會事務局告示第三號
日英博覽會賣店規則左ノ通相定ム

明治四十二年四月二十七日

日英博覽會總裁 男爵大浦兼武

日英博覽會賣店規則

第一條 日英博覽會ノ出品人ハ事務局指定ノ場所ニ賣店ヲ設ケ其ノ出品ト同種ノ物品ヲ即賣スル
コトヲ得

第二條 賣店ヲ開設セムトスル者ハ販賣品ノ種類及所要ノ坪數ヲ明記シ其ノ設計書ヲ添ヘ明治四
十二年八月三十一日迄ニ事務局ニ願出ツヘシ

第三條 賣店開設ノ許可ヲ得タル者ハ共同シテ一組合ヲ設置シ其ノ規約ハ事務局ノ認可ヲ受クヘ
シ

第四條 賣店開設ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル面積ヲ他人ニ讓渡又ハ貸與スルコトヲ
得ス

第五條 賣店開設人自ラ其ノ賣店ヲ管理セサルトキハ代理人ヲ定メ其ノ氏名ヲ事務局ニ届出ツヘ
シ

第六條 賣店開設人ハ其ノ賣店ニ於テ使用スル使用人ノ氏名ヲ申出テ事務局ノ認可ヲ受クヘシ
第七條 販賣品ニハ總テ定價札ヲ附スヘシ

第八條 賣店開設人ハ博覽會開會時間中事務局ノ命令又ハ許可ニ依ル場合ヲ除クノ外其ノ營業ヲ
休止シ又ハ賣店ヲ閉鎖スルコトヲ得ス

第九條 賣店開設人組合ハ一週間毎ニ販賣品名及賣上額ヲ事務局ニ届出ツヘシ

第十條 賣店開設人ハ博覽會閉會後ト雖引シテ販賣スルコトヲ得ス

第十一條 賣店ニ關スル費用ハ總テ賣店開設人ノ負擔トス

第十二條 賣店ノ設備及裝飾ハ事務局ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ設備及裝飾ハ事務局ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條 賣店開設人ハ代理人又ハ其ノ使用人ニ於テ本則又ハ日英博覽會ニ關スル諸規則ニ違背
シ又ハ事務局ノ命令ニ違反シタルトキハ事務局ハ其ノ營業ヲ停止シ又ハ賣店ノ閉鎖ヲ命スルコ
トアルヘシ

第十四條 本則其ノ他日英博覽會ニ關スル諸規則、命令又ハ處分ニ對シ賣店開設人ハ異議ノ申立
ヲ爲シ又ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十五條 本則其ノ他日英博覽會ニ關スル諸規則ハ必要ト認ムルトキハ其ノ規定ヲ變更シ又ハ追
加スルコトアルヘシ

第十六條 賣店開設人ハ本則其ノ他本會ニ關スル諸規則及命令並ニパーツ、ブッシュニ博覽會會
社ノ發布スル諸規則ヲ遵守スヘシ

賣店開設人ニシテ前項ノ規則又ハ命令ニ依ル義務ヲ履行セサルトキハ事務局ハ適宜ノ處分ヲ爲
シ且ツ之ヲ爲ニ要シタル費用ヲ本人ヨリ追徴スルコトアルヘシ

○日英博覽會事務局告示第四號

日英博覽會ノ出品人賣店開設人其ノ他日英博覽會ニ關與スル者ハ左ニ掲クル「シニパーツ、ブッシュニ

博覽會社ノ規則ヲ遵守スヘシ
明治四十二年四月二十七日
日英博覽會總裁 男爵大浦兼武

第一 本博覽會ハ千九百十年五月二日ヨリ同年十月三十一日迄日曜日ヲ除クノ外毎日午前十一時ヨリ午後十一時迄開會ス

開場時間變更ノ權利ハ會社之ヲ保留ス
博覽會ノ開會及閉會ハ適當ナル方法ニ依リテ之ヲ告知スヘシ

第二 特許人ハ特許ニ關スル物品ノ運送引渡据付固著裝置備付、排列裝飾維持撤去並一切ノ建物ノ建築(若シ之アルトキハ)構造、障壁、定著物、遮蔽物等ノ費用ヲ支拂フコトヲ要ス又特許ニ關スル一切ノ物品並用品等ノ運搬收受荷解据付若ハ撤去(博覽會ノ閉會期又ハ契約期限ノ終ニ於テ)等ニ對シテハ責任アル代表者ヲ以テ之ヲ監督ヲ爲サシムルコトヲ要ス

第三 特許人ハ飲料、調理物、酒、煙草等ノ物品ヲ會社ノ同意書ニ依ラス又ハ必要ナル料金ヲ支拂フコトナクシテ又ハ普通販賣契約ヲ會社ト締結シ之ニ署名セサル以前ニ於テ配當ヲ受ケタル面積又ハ其ノ一部ニ於テ販賣、讓與ヲ爲シ又ハ消費スルコトヲ得ス但シ販賣スルノ權利ハ會社ノ認ムル處ニ從ヒ之ヲ拒絕シ又ハ許可セサルコトアルヘク又一旦許可シタル場合ト雖何時ニテモ之ヲ取消スコトアルヘシ

第四 公衆ヲ欺瞞スルノ方法ハ總テ之ヲ禁ス明瞭ニ説明セサルモノ又ハ會社ノ承認ヲ經サルモノハ出品又ハ陳列ヲ許サス會社ハ斯ノ如キ物品又ハ不適當、危險若ハ其ノ他許可スヘカラサルモノト認ムル物品ハ其ノ理由ヲ説明スルコトナクシテ何時ニテモ出品ヲ拒絕シ若ハ撤去ヲ命スル權利ヲ有スルモノトス而シテ各特許人ハ拒絕又ハ撤去ヲ命セラレタル物品ニ關シ會社ニ對シテ要求ヲ爲シ又ハ賠償ヲ求ムルコトヲ得ス

第五 博覽會宛ノ箱及荷物ニハ特許人ノ氏名特許ノ事項及建物ノ名稱若ハ位置並本博覽會ノ名稱ヲ其ノ兩側面ニ記載シ且ツ

第六 豫メ會社ノ同意書ニ依リ非サレハ如何ナル物品モ博覽會ノ開會日前四週日ヨリ早ク收容セラルルコトナシ陳列箱、陳列棚等ノ建造ハ開會前少クトモ二週間内ニ完成セシメ諸物品ハ少クトモ一週間内ニ陳列ヲ終ハルコトヲ要ス

第七 荷箱ハ到着後直ニ荷解ヲ爲シ空箱等ハ特許人ニ於テ之ヲ配當面積又ハ博覽會構内ヨリ搬出スルコトヲ要ス若シ右ノ處理ヲ爲ササルトキハ會社ハ特許人ノ費用ヲ以テ代ツテ之ヲ行フヘキ權利ヲ有スルモノトス

第八 建築其ノ他ノ工事及特許人ニ於テ供給シ又ハ使用ニ係ル物品ハ如何ナル場合ニ於テモ本規則ニ準據シ且ツ會社、倫敦カウンチー、カウンシル地方廳及其ノ他ノ官廳ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス而シテ特許人ハ其ノ工事ニ付配當面積又ハ特許營業ニ關スル契約期間中該會ノ協賛ヲ經タル法律又ハ將來協賛ヲ得ヘキ法律ニ基ク官衙ノ命令及要求ヲ遵守スルコトヲ要ス

第九 特許ニ關スル工事ニ付テハ會社ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス若シ特許ノ事物カ建物内ニ据付ケラレタル場合ニ於テハ豫メ會社ノ同意書ヲ得ルカ又ハ特許人ノ費用ヲ以テスルニ非ラサル限り鉤釘及他ノ附屬物ヲ床壁等ニ押打シ若ハ床壁、屋根等ノ變更、取拂附ケ増シ、取り減ラシ等ヲ爲スコトヲ得ス博覽會建物ノ床面ハ一平方ヤードニ千封度ノ重量ニ堪フヘキモノトス故ニ特許人會社ノ同意書ヲ受ケ又ハ之ヲ得タル後ニ非ラサレハ過重ノ物品ヲ置クコトヲ得ス床面ノ改造ヲ必要ナリト認ムル場合ニ於テハ特許人ノ費用ヲ以テ之ヲ爲スヘシ右改造ノ結果ニ因ル損害ハ特許人ノ之カ責ニ任スルモノトス

第十 建造物用具裝飾意匠揭示板廣告標旗招牌等ハ新調ノモノタルコトヲ要シ且會社ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス會社ニ於テ之ヲ拒絕スヘキモノ又ハ認許スヘカラサルモノト認ムルトキハ之ヲ撤去變更ヲ命スルコトヲ得特許人ハ自己ノ特許ニ關セサル若ハ會社ノ拒絕ヲ受クルカ如キ廣告及揭示ヲ爲スコトヲ得ス

第十一 會社ハ各種ノ建築物建築又ハ据付並陳列臺用具裝飾招牌等ノ請負ヲ爲ス公認ノ請負人又ハ公認セサル請負人ヲ指名スルコトアルヘシ指名者以外ノ請負人ハ博覽會構内ニ於テ注文ヲ受クルコトヲ許サズ但シ特許人ハ書面ニ依リ要求ヲ爲シタル上許可ヲ得タル自己ノ請負人ヲ使用スルコトヲ得此場合ニ於テ特許人ハ特許ニ關スル工事を付請負人ト契約スルニ先テ請負人ノ氏名及住所ヲ會社ニ登錄シ且ツ會社ノ一般規程及請負人ニ關スル規則ヲ遵守スルコトヲ約スル覺書ニ署名スルコトヲ要ス又特許人ハ其ノ工事を及行爲ニ對シテハ其ノ責ニ任スヘシ

第十二 公衆ノ面前ニ於テ運轉セシムヘキ特許ニ要スル電氣ノ供給又ハ必要ナル電流瓦斯水ノ供給ハ特許人ノ費用ト危險トヲ以テ一定ノ書式ニ依リ請求スル場合ニ於テ會社ヨリ之ヲ設備スヘシ特許人ハ其ノ必要ト認ムル電流瓦斯水ノ所要量ヲ記載シ且ツ特許ニ必要ナル用具及据付ニ關スル工事を付普通ノ時價ヲ以テ會社ニ支拂フ爲スコトヲ要ス而シテ其ノ消費スル電流瓦斯水ノ費額ニ該當スル金額ヲ供託スルコトヲ要ス何人ト雖許可ヲ得サル者ハ配當面積特許其ノ他如何ナル場所ニ在リテモ据付ニ關スル工事を從事スルヲ許サズ特許人ノ使用セムトスル請負人ノ氏名ハ工事を著手以前ニ於テ會社ニ届出テ且ツ承認書ヲ受領スルヲ要ス(且ツ請負人ハ會社ノ一般規程及其ノ他ノ諸規則ヲ遵守スルコトヲ約スル覺書ニ署名スルコトヲ要ス)

第十三 特許トノ連結ニ關スル會社ノ工事を請負人カ配當面積ノ工事を完成シ會社ノ検査ニ對シ満足ヲ與ヘタル後ニアラサレハ著手スルコトナレ何人ト雖會社ノ使用人ニ非ラサル限リハ豫メ會社ノ書面ヲシテ一旦會社ノ設備ニ連結セシムル據付ニ干渉附加除去變更等ヲ爲スコトヲ得ス

會社其ノ代表者監督者工夫ハ電氣瓦斯水ノ幹管及排出管並此等ノ内外或ハ博覽會會場ノ他ノ部分ニ於ケル事物ニ對スル修繕變更又ハ改良ニ必要ナル工事を施スノ必要アル場合ニ於テハ何時ニテモ配當面積及特許内ニ出入スル權利ヲ有ス

第十四 博覽會開會前會期中又ハ閉會後特許人其ノ使用人ニ於テ裝置建造据付若ハ其ノ使用撤去又ハ特許ニ關シ若ハ之ニ附屬スル事物ニ依リ又ハ特許人監督ノ下ニ觀覽人特許人其ノ他ノ者ニ對シ又ハ或事物ニ對シ損害ヲ與ヘタル場合ニ於テハ特許人ハ之ヲ賠償シ會社ヲシテ之カ損害賠償訴訟訴訟費用ニ關係セシムルコトヲ要ス

第十五 各特許ハ總テ特許人單獨ノ負擔責任タルヘシ會社ハ如何ナル原因ニ因ルヲ問ハズ特許人又ハ其ノ他ノ者ニ屬スル財産ノ安全紛失損害ニ對シ又ハ其ノ他ノ者ニ對シ何等責ニ任セス特許人ハ會社ノ借地權保險又ハ官廳ノ許可ニ妨ケトナルヘキ行爲ヲ爲スコトヲ得ス且ツ會社ノ火災保險課並地方其ノ他ノ官衙ノ要求ヲ遵守スヘシ

第十六 特許人ハ會社ノ同意書ニ依リニ非サレハ裸火又ハ油ヲ如何ナル方法ヲ以テスルヲ問ハズ使用スルコトヲ得ス爆發燃急危險爆裂等ノ虞アル物質ハ絕對ニ之ヲ禁ス會社ハ博覽會構内ニ搬入スル物品ニ對シ検査又ハ試験ヲ施スノ權利ヲ有ス

第十七 博覽會開會期日前二週間内ニ使用ヲ開始セサル建築物面積地所ハ會社ニ於テ別ニ其ノ他ノ目的ニ配當シ既ニ支拂ニ係ル納金ハ之ヲ沒收シ特許ヲ取消スコトアルヘシ且ツ特許人ノ負擔タルヘキ費額アルトキハ該面積ヲ占有セルモノト見做シテ之カ納付ヲ完了セシムルモノトス

第十八 如何ナル物品ト雖博覽會開場時間中博覽會ニ配達シ、搬入シ又ハ搬出スルコトヲ得ス開場前早ク收受シタル各荷箱ハ毎朝開場時刻前ニ撤去スヘシ

第十九 特許人ハ如何ナル契約ニ依ルヲ問ハズ配當面積又ハ其ノ一部ニ於テ法律上ノ權利又ハ財產ヲ獲得スルモノニアラス單ニ前記期間内特許ノ目的ニ於テノミ之ヲ使用スルコトヲ許可セザルニ過キスレテ契約中ノ事項ニ付會社ト特許人トノ間ニ組合ヲ構成スルコトナシ

第二十 會社ハ博覽會入場ノ爲ニ公衆ニ對シテ入場料ヲ課スルヲ得公衆ハ何人タルニ拘ハラズ會社カ入場ヲ許可スヘキモノト認定セル者ヲ除クノ外配當面積又ハ其ノ一部ニ入場スルコトヲ得ス會社ハ博覽會ノ建物又ハ敷地ノ或部分ヲ圍繞シ若ハ之ヲ閉チ又ハ一時若ハ永久的ニ其ノ入場ニ付特別料金を課スルノ權利ヲ有ス特許人ハ會社ノ行爲ヲ理由トシテ何等價又ハ補助金ヲ請求スルノ權ナシ特許人ハ博覽會入場又ハ其ノ他ノ爲ニ會社又ハ其ノ他ノ者ノ收納ニ對シ何等請求權ヲ有セス但シ特許ノ爲ニ收納シタル金錢ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一 博覽會開會前七日間新聞記者ノ檢閲ヲ催スヘシ特許人ハ自己ノ利益上及博覽會ノ利益ノ爲ニ充分ノ準備ヲ爲シ報道ノ材料ヲ供給セムコトヲ望ム

第二十二 博覽會入場ノ爲ニ各特許人ニ對シテ他ニ移轉スルコトヲ得サル入場券ヲ發行スヘシ特許人ハ特許ニ從事スル備人ノ爲ニ開期中ニ於ケル一般入場料ノ半額ヲ以テ會社ヨリ其ノ入場券ヲ購入スヘシ入場券ハ其ノ業務上入場ヲ得ル爲ニ之ニ記名セル備人ノミ之ヲ使用シ且ツ隨時會社ノ規定スヘキ條件制限並出入時間等ヲ遵守スルモノトシテ發行セラルルモノトス若シ他人ニ於テ之ヲ使用スルカ又ハ發行ノ條件及制限ニ抵觸スルトキハ之ヲ沒收シ再發行若ハ再交附ヲ爲スコトナシ

第二十三 特許配當面積等ハ毎日開場時間前少クトモ十五分内ニ適當ナル掃除ヲ爲シ公衆ニ展示スル用意ヲ爲シ且ツ博覽會ノ公開時間中終始斯ノ如キ状態ニテ示ルコトヲ要ス若シ會社ニ於テ右ノ用意不十分ナリト認ムルトキハ特許人ハ自己ノ費用及危險ニ於テ會社ノ必要ト認ムル改良ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四 各特許人ハ自己ノ特許ノ經營ニ關スル一切ノ費用ヲ負擔シ備人、番人、從業者ノ俸給及賃金ヲ支拂フコトヲ要ス特許人ハ其ノ備人ノ氏名及住所ヲ會社ノ事務局ニ登録シ且ツ會社ノ規則ヲ遵守スルコトヲ同意セル覺書ニ署名シタル後ニ非サレバ博覽會又ハ特許ノ業務ニ從事セズルコトヲ得ス又特許人ハ會社ノ同意書ナクシテ會社、特許人又ハ備内ノ他ノ備主ヨリ解僱セラレタル者ヲ使用スルコトヲ得ス特許人ハ其ノ備人ノ爲ニ會社ノ指示ニ從ヒ無料便所ヲ準備スルコトヲ要ス

第二十五 特許人ハ會社ノ意見ニ於テ會社又ハ他ノ特許人、觀覽人其ノ周圍ノ特許陳列場所又ハ財產ノ占有者ニ對シテ障害ヲ及ボシ迷惑ヲ與ヘ又ハ損傷妨害ヲ及ボスモノト認ムル行爲ヲ爲スコトヲ得ス特許人ハ如何ナル方法ニ依ルヲ問ハズ公衆ヲ勸請シ又ハ強請スルコトヲ得サルノミナラズ其ノ代理人又ハ雇人ヲシテ之ヲ爲サシメ又ハ贈與ヲ受ケシムルコトヲ得ス會社ハ一切ノ特許人ニ對シテ他ノ特許營業人カ右ノ如キ行爲ヲ爲シ又ハ右ニ關スル規則ヲ遵守セサルカ爲ニ生スル結果ニ付何等責任ヲ負フコトナシ

第二十六 特許ニ關係スル備人又ハ其ノ他ノ者ハ清潔ナル服裝ヲ爲シ常ニ叮嚀ニ動作シ特許人其ノ他ノ者ニ對シ強請シ又ハ迷惑ヲ與フルカ如キコトヲ爲スヲ得ス又配當面積内ニ於ケルノ外制服用ノ儘博覽會ヲ觀覽スルコトヲ得ス若シ右ノ規定ニ違背スルトキハ會社ハ博覽會構内ヨリ

之ヲ退去セシメ將來入場ヲ禁スルコトアルヘシ會社ハ何人ニ對シテモ其ノ理由ヲ明示スルコト
ナクシテ博覽會構内ニ於ケル從業ヲ中止シ若ハ入場ヲ拒絶シ又ハ退出セシムル權利ヲ有スルモ
ノトス特許ニ關係セル特許人ノ傭人及其ノ他ノ者ハ每夜博覽會ノ閉場後直ニ博覽會會場ヨリ退
去スルコトヲ要ス

第二十七 特許會社ノ任命ニ係ル審査ノ裁判員ニ依リ審査セララルル場合ニ於テハ其ノ判定ハ最
終ノモノニシテ且ツ拘束的ノモノトス特許人ハ此判決ニ對シテ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十八 特許人ハ特許又ハ博覽會内ニ於テ觀覽人又ハ其ノ他ノ者カ遺失シタル物件又ハ其ノ傭
人ノ發見シタル物件ヲ會社ノ指示セル場所ニ直ニ寄託スヘシ

第二十九 特許人ハ會社ノ同意ナクシテ博覽會内ニ於テ引札又ハ廣告ヲ爲シ之ヲ贈與、配附スル
コトヲ得ス

第三十 特許人ハ會社ノ同意書ニ依ラスシテ特許又ハ其ノ一部ヲ取外シ變更シ又ハ撤去スルコ
トヲ得ス

第三十一 會社ニ於テ調製シテ特許人若ハ其ノ代表者ノ檢閱セル計算書ハ其ノ調製檢閱ノ日ヨリ七
日以内ニ特許人書面ヲ以テ不同意ノ申込ヲ爲スニ非サレハ該計算書ハ特許人ニ於テ承認シ且ツ
履行ヲ諾セルモノト見做サルヘシ

第三十二 會社ハ販賣其ノ他ノ爲ニ出品目錄案内記、次第書、紀念物又ハ其ノ他ノ出版物ヲ編纂印
刷及發行スルノ專權ヲ有シ且ツ特許又ハ其ノ一部ノ攝影、模寫、複寫ヲ爲ス專權ヲ有ス特許人ハ
會社ノ同意書ヲクシテ特許又ハ其ノ一部ヲ攝影、模寫、複寫スルコトヲ得ス又會社或ハ會社ノ公
認代理人ニ依ルカ又ハ成規ノ料金ヲ納付スルニ非サレハ會社ニ依リ拒絶セララルル方法ニ依リテ

博覽會構内ニ於テ特許ニ關スル廣告又ハ揭示ヲ爲スコトヲ得ス

第三十三 特許人破産ノ場合ニ於テハ會社ハ其ノ選擇ニ依リ契約ヲ解除スヘシ該契約ニヨリ特許
人ノ所得ニ歸シ又ハ特許人ニ依リ支拂ヘル金額ハ之ヲ沒收シテ會社ノ財産トナルヘシ法人解散
ノ命令ハ破産ト看做サルヘシ

第三十四 會社ノ契約書及規則ニ於テ次ニ掲クル文字ハ次ノ意義ヲ有スルモノトス

「會社」ハ「シニバーツ、ブツ」ニ博覽會會社「博覽會」ハ千九百十年五月ヨリ十月迄倫敦ウエスト、
「シニバーツ、ブツ」ニ於ケル敷地内ニ開設スル博覽會「特許人」ハ政府、市、人又ハ法人タルト否
トヲ問ハス集合體ニシテ合衆王國內ニ住所ヲ有スルト否トヲ問ハス特許ニ關シ會社ト契約ヲ爲
シ其規則ノ寫ニ署名セルモノ「特許」ハ會社トノ契約書ニ記載セル特許人ノ觀セ物、興行物、出品又
ハ特許權及之ニ關係スル事物又ハ其ノ一部配當面積ハ特許ノ目的ヲ以テ特許人ニ配當シタル
地所、建築物又ハ其ノ一部傭人ハ特許ノ爲ニ若ハ之ニ關スル事情ノ爲ニ一時的ニ或ハ永久的ニ
如何ナル目的タルヲ問ハス從業スル代理人、代表人、管理人、從業者、僕、助手若ハ其他ノ者事務
總長ハ倫敦ウエスト、クロムウエル街タワラーハウス、イムレ、キラルフヒール氏及書面ヲ以テ任命セ
ラレタル同氏ノ代理人終ニ單數ノミヲ以テ記載シタル語ハ複數ノ場合ヲモ包含シ男性ノミヲ
以テ記載シタル語ハ女性ヲモ包含シタルモノ其ノ反對ノ場合亦同シトス

○日英博覽會事務局告示第五號

日英博覽會ニ出品セムトスル者ハ左ニ掲クル出品部類目錄ニ據ルヘシ
木出品部類目錄ハ各部ニ於テ包含スヘキ物品ヲ例示シタルモノニシテ出品ノ種類ヲ制限シタルモ
ノニ非ラス

明治四十二年四月二十七日

日英博覽會總裁 男爵大浦兼武

○日英博覽會事務局告示第六號
日英博覽會出品人心得左ノ通相定ム

明治四十二年四月二十七日

日英博覽會總裁 男爵大浦兼武

日英博覽會出品人心得

本邦ト英國トノ不淪ノ親交ニ基キ政府ハ茲ニ明年五月英國倫敦ニ於テ開設スル日英博覽會ニ參同スルニ決シタリ之レ該博覽會ニ依リテ我文化ノ發展、富源及産業ノ進歩ヲ表彰シ依テ以テ通商貿易ノ擴張ヲ圖ラントスル趣旨ニ外ナラス抑モ英國ハ其ノ總輸入額六十五億圓ヲ算シ且ツ自由貿易國ナルニ拘ハラズ本邦品ノ輸入セラルルモノ僅ニ二千五百萬圓ニ過キサルハ畢竟我產物ヲ汎ネテ公示スルノ機會乏カリシニ歸因スルモノニシテ該博覽會ハ對英貿易上逸スヘカラサルノ好機ナルカ故ニ深ク左記ノ事項ニ注意シ奮テ優良ナル出品ヲ爲シ販路ヲ擴張スルニ努メ以テ政府參同ノ趣旨ニ協フコトヲ期スヘシ

- 第一 出品ハ國民ノ生産的實力ヲ集合シテ國民的一體トナリ輸販ヲ世界ノ最大市場ニ決スルノ覺悟ヲ以テ同業者互ニ相一致シ優等品ヲ精撰シテ出品スルコトヲ期スヘシ
- 第二 出品人ハ目前ノ利益又ハ單ニ褒賞ヲ得ルコトヲ目的トセス販路擴張上必要ナル標本タルヘキモノヲ出陳シ貿易上永遠ノ利益ヲ收ムルコトヲ主眼トスヘシ
- 第三 普通商品ハ現ニ貿易品タリ若ハ將來貿易品タルヘキモノニシテ販路擴張ノ見込アルモノヲ撰フハ勿論主トシテ英國人ノ嗜好ニ應ジ且ツ專ラ實用ニ適スルモノヲ撰フヘシ
- 第四 繪畫、彫刻類ノ美術品ハ風趣高雅ニシテ國光ヲ發揚スルニ足ルヘキモノタルヘシ
- 第五 美術工藝品ハ意匠ノ斬新製作ノ精巧堅牢ヲ主トシ鑑賞實用其ノ宜シキヲ得タルモノヲ撰フヘシ
- 第六 學術、經濟等ニ關スル出品ハ文化ノ進歩ヲ示スニ足ルヘキモノタルヘシ

- 第七 製産ノ數量僅少ナルモノ又ハ單ニ奇巧ヲ術フニ過キサル物品ハ出品スヘカラス
- 第八 同種ノ物品ハ多數人各自ニ出品スルコトヲ避ケ同業者協同一致シテ地方特産物ノ特長ヲ發揮スルコトヲ主眼トスヘシ
- 第九 出品物ノ數量ハ其ノ出品物ノ性質ニ從ヒ其ノ價值ヲ充分發揮スルニ適當ナル様注意スヘシ
- 第十 出品ノ陳列ハ其ノ光彩、色澤、形狀等ノ配合ニ留意シ斬新ノ意匠ヲ凝ラシ觀覽人ノ注意ヲ喚起スルニ努ムヘシ
- 第十一 寫真、圖面、統計表等ニ用フル文字ハ英語ヲ用ヒ字句ニ誤ナキコトヲ期スヘシ
- 第十二 繪畫寫真、圖面、統計表ノ類ハ額面帖等ニ仕立ツヘシ
- 第十三 解説書ハ審査又ハ鑑査用ニ供セラルヘキモノナルヲ以テ簡明確實ニ記述スヘシ
- 第十四 出品人ハ引札、廣告等ノ配付其ノ他販路擴張上必要ナル施設ヲ爲スコトヲ怠ルヘカラス
- 第十五 出品物ノ賣價ハ將來ノ取引ニ重大ナル關係アルヲ以テ生産費、運賃、保險料、荷造費等ヲ參酌シテ著實ニ之ヲ定ムヘシ
- 第十六 出品願書、出品概目録、出品入記目録、解説書等ノ差出及出品物輸出ニ關スル期限ハ出品人ニ於テ嚴ニ之ヲ遵守シ遲滞ナキコトヲ期スヘシ

○鐵道院告示第二十號

本年以後毎年必要ノ時期ヲ限リ讚岐線九龜多度津間ニ中津假停車場ヲ設置シ旅客及附隨小荷物ノ取扱ヲナス哩程左ノ通り

但同停車場ノ開閉、旅客取扱區間並ニ列車發着時刻ハ關係停車場ニ揭示ス

明治四十二年五月十五日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

九龜中津間 一哩七分

中津多度津間 一哩三分

○鐵道院告示第二十一號

北陸線敦賀停車場ニ於テ來六月一日ヨリ一車積貨物ノ取扱ヲ開始ス

明治四十二年五月二十日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第二十二號

關西線愛知停車場ハ明治四十二年五月三十一日限リ之ヲ廢止ス

但同所ハ名古屋停車場ノ一部トシテ六月一日ヨリ特約貨物ノ取扱ヲ爲ス

明治四十二年五月二十二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第二十三號

明治四十一年ハ鐵道院告示第十號中部管理局西部管理局所管分界線中名古屋湊町間 名古屋起點零哩十四釐トアルヲ名古屋湊町間 名古屋起點零哩零釐ト改メ明治四十二年六月一日ヨリ

明治四十二年五月 告示 鐵道院第二十號 第二十一號 第二十二號 第二十三號

之ヲ施行ス

明治四十二年五月二十二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第二十四號

明治四十二年五月二十四日ヨリ西部鐵道管理局釜山出張所ヲ廢止ス

明治四十二年五月二十四日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第二十五號

明治四十一年^{十二}鐵道院告示第四號鐵道管理局內各事務所ノ名稱位置及所管區域中西部鐵道管理局內ノ各運輸事務所 龜山保線事務所及湊町出納事務所ノ名稱位置所管區域ヲ削除シ湊町保線事務所所管區域へ「龜山山田間」ヲ加ヘ「加茂湊町間」ヲ名古屋湊町間ニ改メ來ル六月一日ヨリ施行ス

明治四十二年五月二十九日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○內務省告示第五十一號

千九百〇九年四月五日發行

米國桑港フレンスノ勞働新聞社發行
市ニフ街九二二

一勞働第二卷第六號

發行人 竹内鉄五郎

右雜誌ハ治安ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ新聞紙條例第二十一條ニ依リ明治四十二年五月一日
內國ニ於ケル發賣頒布ヲ禁止シ且其紙冊ヲ差押フ

明治四十二年五月三日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第五十二號

一無政府主義道徳非認論

一部

發行者未詳

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ明治四十二年五月七日發賣頒布禁止及刻版並
印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十二年五月八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第五十三號

國道第五十七號線ヲ左ノ通り相定ム

明治四十二年五月十日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

五十七號	東京ヨリ第十三師團ニ達スル路線	
地名	管轄名	國名
日本橋		
五號		
高田	新潟縣	越後
高城	同	同

○內務省告示第五十四號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス

明治四十二年五月十一日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

滋賀縣

内外貨幣比較表

外 國 貨 幣	日 本 金 貨
上海一兩	一四二
天津一兩	二〇六
漢口一兩	一七〇
墨西哥銀	八四〇
英 國 利 弗 銀	八六一
香 港 幣 銀	八六一
英 領 印 度 貨 幣	六五二
一チカル	七六〇

○大藏省告示第六十五號

鐵道國有法第十四條ニ依リ日本、岩越兩鐵道株式會社ニ交付スヘキ公債左ノ通本年四月二十日之ヲ發行セリ

明治四十二年五月一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

一大日本帝國政府五分利公債證書(甲第號)額面一億四千四百九十四萬五千六百圓

但甲種國債登錄簿ニ登錄

○大藏省告示第六十六號

無記名軍部公債證書紛失ニ由リ代證券ヲ交付シタル原證券ノ額面金額種類、枚數發行年記號及番

號等左ノ如シ

明治四十二年五月六日

大藏大臣 侯爵桂太郎

額面金額

枚數

發行年

記號

番號

附屬利札

紛失届出年月日

五拾圓

一

明治二十八年

あ

六五九六

明治三十五年

十二月減以降

百圓

一

同三十一年

か

百〇八九

同三十五年

六月減以降

○大藏省告示第六十七號
大阪稅務監督局管内稅務署ヲ明治四十二年五月十一日大阪府泉北郡向井村大字中筋四百四十二番地ニ移ス

明治四十二年五月六日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第六十八號
製造煙草定價左ノ通相定ム

明治四十二年五月七日

大藏大臣 侯爵桂太郎

種 類

製造所

英官利コロン

名 稱

ソルセラ

定 價

一英斤ニ付 四八〇

○大藏省告示第六十九號
無記名整理公債證書紛失ニ由リ代證券ヲ交付シタル原證券ノ額面金額種類、枚數、發行年、記號及番號等左ノ如シ

明治四十二年五月八日

大藏大臣 侯爵桂太郎

額面金額

枚數

發行年

記號

番號

附屬利札

紛失届出年月日

千圓

一

明治三十二年

あ

六〇六

明治三十六年

六月減以降

五拾圓

一

同二十五年

あ

七〇九

同

同

○陸軍省告示第八號

陸軍軍人軍屬及雇傭人等ニシテ臺灣匪徒又ハ蕃人ノ討伐ニ從事シ公務ノ爲傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ヲ齎シ死歿シタル者ノ遺族ニハ一時賜金ヲ賜與ス
前項ノ賜與手續ニ關シテハ明治三十七年陸軍省告示第十九號ヲ準用ス但シ傷痕疾病ノ原因ニ付テハ該部隊長ヨリ下付シタル證據書類ノ添附ヲ要ス

明治四十二年五月十五日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

○陸軍省告示第九號

明治四十年陸軍省告示第十號臨時陸軍建築部支部出張所中東京支部ノ部ニ左ノ通追加ス
明治四十二年五月二十四日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

出張所名稱 下志津出張所

位置 千葉縣印旛郡旭村

○海軍省告示第八號

明治三十七年十一月海軍省告示第二十八號海軍軍人軍屬鐵道乘車並物品輸送手續中左ノ通り改正シ
明治四十二年七月一日ヨリ施行ス

明治四十二年五月十二日

海軍大臣 男爵齋藤實

第七條 在郷軍人召集若ハ新兵入團ノトキハ證券ヲ用ヒス在郷軍人ニ在リテハ召集令狀又ハ點呼令狀志願兵ニ在リテハ採用證書徵兵ニ在リテハ現役兵證書又ハ補充兵證書若ハ之ヲ證明スヘキ文書ヲ示シ又ハ憲兵若ハ警察官ノ證明ニ依リ減價乘車スルコトヲ得但乘車ノ必要アルモノハ豫メ令狀證書若ハ其他ノ文書ノ添付ヲ要ス且シ其ノ乘車ノ都度令狀證書若ハ其他ノ文書ノ添付ヲ要ス且シ其ノ添付ノ自其縣至其縣ト本人ニ於テ記入シ之ヲ乘車際出札擔務者ニ示シ其ノ認印ヲ受ケ且シ其ノ添付ヲ交付スヘシ

○海軍省告示第九號

本年當省告示第一號ニ基ク海軍兵學校生徒志願者ニ對スル身體検査ハ左記ノ日割ノ通開始施行ス

明治四十二年五月十五日

海軍大臣 男爵齋藤實

地名	身體検査開始ノ日	同上終結ノ日	地名	身體検査開始ノ日	同上終結ノ日
東京市	七月十一日	七月十九日	廣島市	七月十七日	七月二十三日
長野市	七月十八日	七月二十二日	高知市	七月二十日	七月二十二日
名古屋市	七月二十日	七月二十三日	島取市	七月三十一日	七月三十二日
弘前市	七月十三日	七月十三日	熊本市	七月十七日	七月三十一日
仙臺市	七月十七日	七月二十日	鹿兒島市	七月九日	七月十一日
京都市	七月十五日	七月十九日	大分町	七月二十日	七月二十三日
金澤市	七月九日	七月十日			

志願者ハ前記身體検査開始ノ一日前ニ各其ノ受驗地ノ府縣廳(東京ハ築地水交社弘前ハ市役所)ニ就キ豫メ自己ノ身體検査ヲ受ケヘキ日割ヲ承合スヘク其ノ他志願者心得第十六條乃至第二十條ニ注意スヘシ

注意 志願者心得ハ暇セテ本年一月六日官報海軍省告示第一號中ニ在リ

地方長官ハ市區町村長ヲシテ本告示ノ要領ヲ其ノ取扱ニ係ル志願者ニ通達セシムルカ又ハ其ノ役場ニ揭示公表セシムルヲ要ス

○司法省告示第十六號

山形縣最上郡新庄町戸籍役場明治四十二年三月十五日火災ニ罹リ身分登記簿、戸籍簿、後見人名簿其他役場ニ保存スル書類焼失シタルニ付左ノ各號ニ該當スル者ハ明治四十二年八月七日迄ニ更ニ同村戸籍吏ニ届出ヲ爲シ又ハ書類ノ送付ヲ爲スヘシ

但届出ヲ爲スニ付キ詳細ノ手續ハ同村戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ

第一 明治三十一年七月十六日ヨリ本年三月十五日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者及ヒ戸籍ニ關スル届書ノ副本ヲ送付シ又ハ送付ヲ受ケタル者

第二 明治四十二年三月一日ヨリ同月十五日迄ノ間ニ於テ身分ニ關スル届出及ヒ届書ノ送付ヲ爲シタル者

第三 明治三十一年七月十六日ヨリ同四十二年三月十五日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ入籍通知ヲ爲シタル者

前各號中第一號第二號ノ届書ノ正本又ハ副本ハ戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ保存スルモノニ就キ之ヲ騰寫シテ送付スヘシ

明治四十二年五月七日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第十七號

山形縣最上郡新庄町役場明治四十二年三月十五日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付キ現ニ同町ニ寄留スル者又ハ同町ヨリ他ノ寄留中ノ者ハ明治四十二年八月七日迄ニ明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出方ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同町長ニ届出ツヘシ

明治四十二年五月七日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第十八號
免囚保護事業獎勵費ヲ受ケントスル者ハ所在地監獄典獄ニ就キ申請ニ關スル手續及ヒ條件ヲ承合

シ來ル六月末日迄ニ出願ス可シ

明治四十二年五月十四日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第十九號

北海道龜田郡戸井村戸籍役場明治四十二年二月二十五日火災ニ罹リ身分登記簿、戸籍簿、後見人名簿其他同役場ニ保存スル書類焼失シタルニ付キ左ノ各號ニ該當スル者ハ明治四十二年八月十五日マテニ更ニ同村戸籍吏ニ届出ヲ爲シ又ハ書類ノ送付ヲ爲スヘシ

但届出ヲ爲スニ付キ詳細ノ手續ハ同村戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ

第一 明治四十二年二月一日ヨリ同月二十四日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ身分ニ關スル届出届書ノ正本又ハ副本ヲ送付申請報告請求等ヲ爲シタル者

第二 明治三十一年七月十六日ヨリ同四十二年二月二十四日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者及ヒ戸籍ニ關スル届書ノ副本ヲ送付シ又ハ其送付ヲ受ケタル者

第三 同村戸籍吏ニ入籍通知ヲ爲シタル者

第四 戸籍法施行前同村役場ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者

前各號中第一號及第二號ノ届出ノ正本又ハ副本ハ戸籍吏戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ保存スルモノニ付キ之ヲ騰寫シテ送付スヘシ第四號届出ハ戸籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ

明治四十二年五月十八日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十號

北海道龜田郡戸井村役場明治四十二年二月二十五日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付キ現ニ同村ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他ノ寄留中ノ者ハ明治四十二年八月十五日マテニ明治十九年内

務省令第十九號寄留者届出ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同村長ニ届出ツヘシ
明治四十二年五月十八日 司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十一號

樺手縣二戸郡姉帯田部組合村戸籍役場明治四十二年三月十七日火災ニ罹リ身分登記簿、戸籍簿、後見人名簿其他役場ニ保存スル書類焼失シタルニ付キ左ノ各號ニ該當スル者ハ明治四十二年八月十八日迄ニ更ニ同村戸籍吏ニ届出ヲ爲シ又ハ書類ノ送付ヲ爲スヘシ

但届出ヲ爲スニ付キ詳細ノ手續ハ同村戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ
第一 明治四十二年三月一日ヨリ同月十七日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ身分ニ關スル届出ヲ爲シタル者

第二 明治三十一年七月十六日ヨリ同四十二年三月十七日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者及ヒ戸籍ニ關スル届書ノ副本ヲ送付シ又ハ其副本ノ送付ヲ受ケタル者
第三 明治三十一年七月十六日ヨリ同四十二年三月十七日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ入籍通知ヲ爲シタル者

第四 戸籍法施行前同村役場ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者
前各號中第二號ノ戸籍ニ關スル届書ノ副本ハ戸籍吏戸籍役場ニ保存スルモノニ付キ之ヲ謄寫シ送付スヘシ第四號ノ届書ハ戸籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ
明治四十二年五月十九日 司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十二號

樺手縣二戸郡姉帯田部組合村役場明治四十二年三月十七日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付キ現ニ同村ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他ニ出寄留中ノ者ハ明治四十二年八月十八日マテニ明治十

九年内務省令第十九號中寄留者届出ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同村長ニ届出ツヘシ
明治四十二年五月十九日 司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十三號

岐阜縣惠那郡東野村戸籍役場明治四十二年四月二十日火災ニ罹リ身分登記簿、戸籍簿、後見人名簿其他役場ニ保存スル書類焼失シタルニ付キ左ノ各號ニ該當スル者ハ明治四十二年八月十八日迄ニ更ニ同村戸籍吏ニ届出ヲ爲シ又ハ書類ノ送付ヲ爲スヘシ

但届出ヲ爲スニ付キ詳細ノ手續ハ同村戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ
第一 明治四十二年四月一日ヨリ同月二十日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ身分ニ關スル届出、申請報告、請求ヲ爲シ又ハ届書ヲ送付シ若クハ其送付ヲ受ケタル者

第二 明治三十一年七月十六日ヨリ同四十二年四月二十日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者及ヒ戸籍ニ關スル届書ノ副本ヲ送付シ又ハ其副本ノ送付ヲ受ケタル者
第三 明治四十二年四月一日ヨリ同月二十日迄ノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ入籍通知ヲ爲シタル者
第四 戸籍法施行前同村役場ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者

前各號中第一號、第二號ノ届書ノ正本又ハ副本ハ戸籍吏戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ保存スルモノニ付キ之ヲ謄寫シ送付スヘシ第四號ノ届書ハ戸籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ
明治四十二年五月十九日 司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十四號

岐阜縣惠那郡東野村役場明治四十二年四月二十日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付キ現ニ同村ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他ニ出寄留中ノ者ハ明治四十二年八月十八日迄ニ明治十九年内務省

令第十九號中寄留者届出ニ關スル規定ニ依リ其再入寄留ヲ更ニ同村長ニ届出ツヘシ
明治四十二年五月十九日 司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十五號
岡山地方裁判所管内新見區裁判所本月十七日借中國阿哲郡新見町ノ新廳舎ニ移轉セリ
明治四十二年五月十九日 司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第二十六號
茨城縣新治郡新治村戸籍役場備附ノ身分登記簿機失シテリ
明治四十二年五月二十七日 司法大臣 子爵岡部長職

○文部省告示第四百四十八號
右ハ明治四十一年文部省令第三十二號教員檢定ニ關スル規定第六條第二號ニ依リ認定ス
明治四十二年五月一日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四百四十九號
鹿兒島縣鹿兒島市山下町ニ設置セル鹿兒島縣鹿兒島郡立工業徒弟學校ノ位置ヲ同縣同市樋之口町ニ變更ノ件認可セリ
明治四十二年五月四日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四百五十號
大嶺村立日露戰役記念圖書館ヲ山口縣美禰郡大嶺村立大嶺尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ
明治四十二年五月五日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五百一十一號
京都府天田郡福知山町ニ設置セル京都府天田郡立女子工藝學校ヲ明治四十二年五月四日限り廢止ノ件認可セリ
明治四十二年五月五日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五百一十二號
京都府天田郡立高等女學校ヲ同府天田郡福知山町ニ設置シ明治四十二年五月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十二年五月五日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五百一十三號
直入郡教育私立竹田文庫ヲ大分縣直入郡竹田町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
明治四十二年五月五日 文部大臣 小松原英太郎

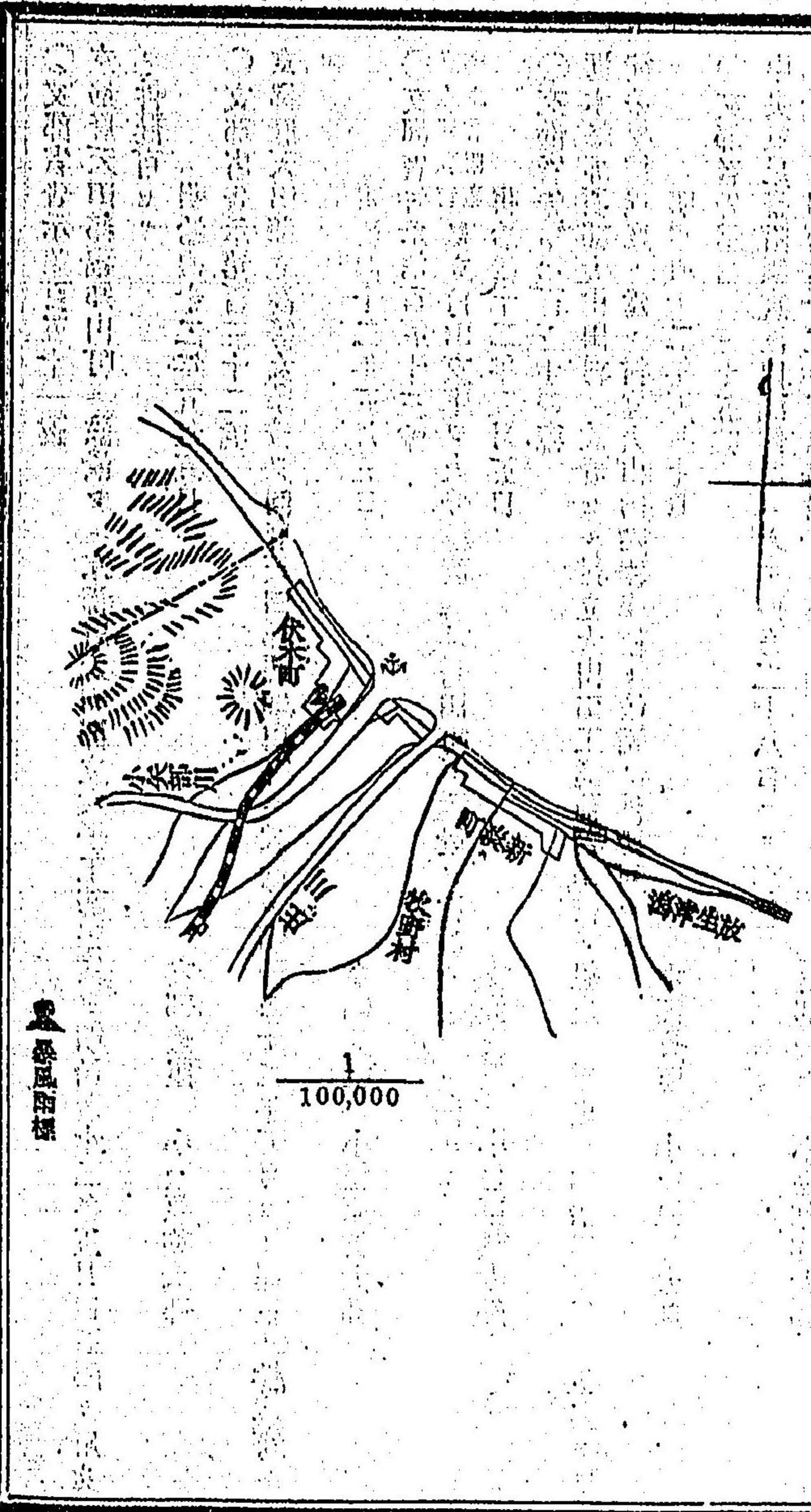
○文部省告示第五百一十四號
栃木縣那須郡大山田村ニ設置セル村立大山田工業補習學校ノ組織ヲ變更シ明治四十二年五月ヨリ徒弟學校程度ト爲シ村立大山田陶器學校ト改稱ノ件認可セリ
明治四十二年五月七日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五百一十五號
中央氣象臺附屬筑波山測候所ハ本年四月二十八日ヨリ事務ヲ開始セリ
明治四十二年五月八日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五百一十六號
三丘村立三丘圖書館ヲ山口縣熊毛郡三丘尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ
明治四十二年五月八日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五百五十七號
高山縣知事ノ同縣射水郡伏木町大字古國府町縣立伏木瀬候所構内ニ縣立暴風雨標ヲ設置シ本年五月一日ヨリ信號揚卸開始ノ旨届出タリ
明治四十二年五月十日

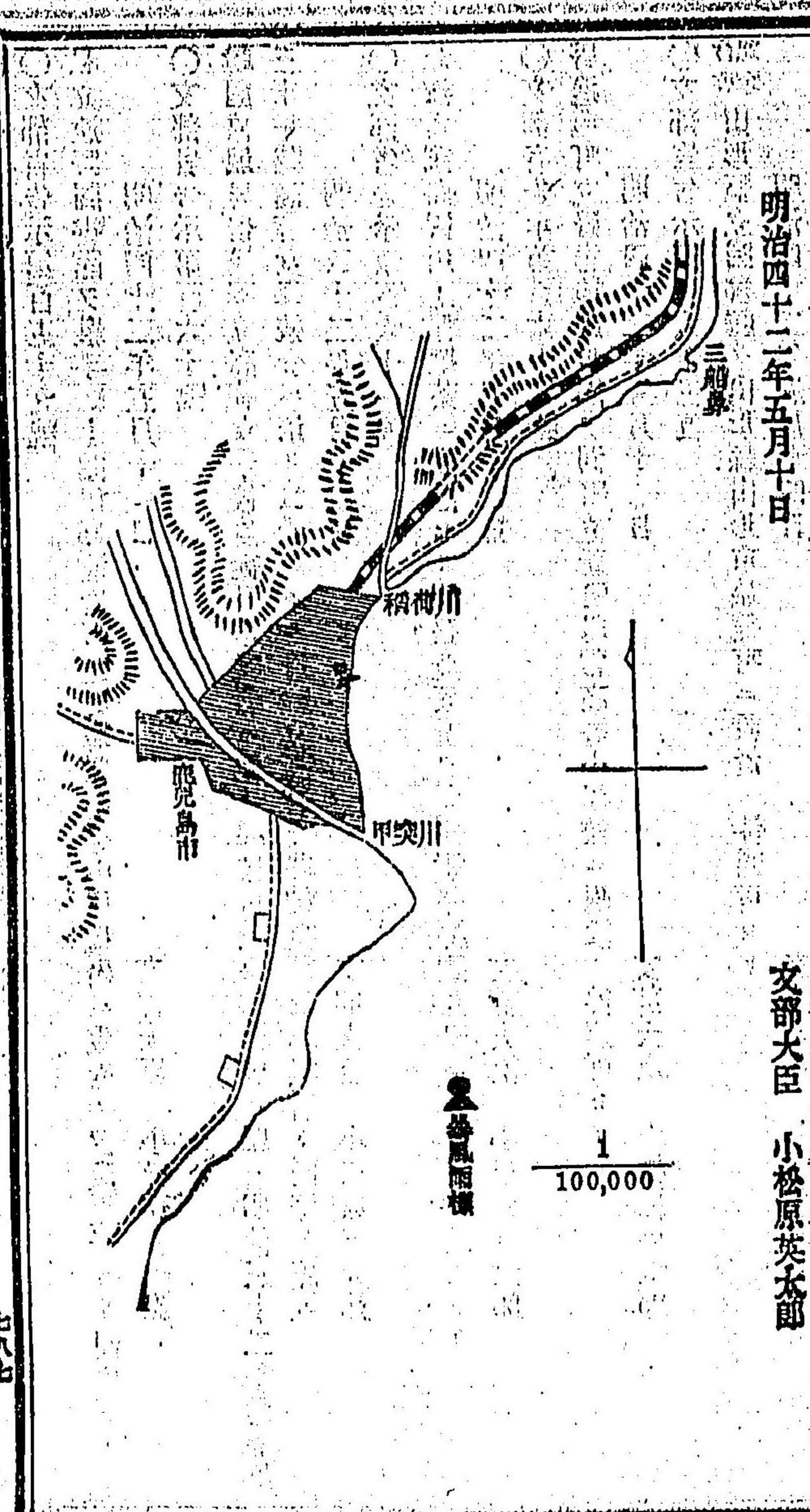
文部大臣 小松原英太郎



縣立暴風雨標

○文部省告示第五百五十八號
鹿兒島縣知事ノ同縣鹿兒島市生産町海岸ニ縣立暴風雨標ヲ設置シ本年五月一日ヨリ信號揚卸開始ノ旨届出タリ
明治四十二年五月十日

文部大臣 小松原英太郎



縣立暴風雨標

○文部省告示第五十九號

私立遠野圖書館ヲ巖手縣上閉伊郡遠野町遠野尋常高等小學校内ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
明治四十二年五月十一日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十號

韓國京城居留民團立高等女學校生徒及卒業者ハ他ノ學校へ入學轉學等ニ關シ明治三十二年勅令第三十一號高等女學校令ニ依リ設置シタル府縣立高等女學校生徒及卒業者ト同等ト認ム
明治四十二年五月十二日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十一號

北海道釧路國川上郡標茶ニ設置セル釧路測候所ヲ同國釧路郡釧路町ニ移轉ノ件認可セリ
明治四十二年五月十二日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十二號

野邊地町立野邊地圖書館ヲ同町立新町尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ
明治四十二年五月十二日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十三號

行啓山形縣立圖書館ヲ山形縣山形市旅籠町ニ設置ノ件認可セリ
明治四十二年五月十四日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十四號

私立空知教育會圖書館ヲ北海道石狩國空知郡岩見澤町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
明治四十二年五月十四日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十五號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス
東京府私立東京獸醫學校
明治四十二年五月十七日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十六號

富山縣下新川郡立下新川圖書館ヲ下新川郡立農業學校附設下新川圖書館ト改稱シ同校ニ附設ノ件認可セリ
明治四十二年五月十七日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十七號

室津村立室津圖書館ヲ山口縣熊毛郡室津村立室津尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ
明治四十二年五月十七日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十八號

滋賀縣坂田郡春照村ニ設置セル春照村外二箇村學校組合立山東農學校ノ名稱ヲ春照村外二箇村學校組合立山東農林學校ト變更ノ件認可セリ
明治四十二年五月二十日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十九號

東京市立日本橋簡易圖書館ヲ東京府東京市日本橋區宿屋町市立城東尋常小學校内ニ設置ノ件認可セリ
明治四十二年五月二十一日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十號

東京市立牛込簡易圖書館ヲ東京府東京市牛込區市ヶ谷山伏町市立市ヶ谷尋常小學校内ニ設置ノ件認可セリ
明治四十二年五月二十一日 文部大臣 小松原英太郎

認可セリ

明治四十二年五月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十一號

武田村立圖書館ヲ茨城縣行方郡武田尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十二年五月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十二號

福岡福岡圖書館ヲ熊本縣二戸郡福岡尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十二年五月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十三號

私立水口圖書館ヲ滋賀縣甲賀郡水口町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十二年五月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十四號

新潟縣北蒲原郡中條町ニ農業學校規程乙種程度ニ依リ新潟縣北蒲原郡立中條農學校ヲ設置シ明治

四十三年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十五號

私立小鹽江青年圖書館ヲ福島縣石川郡小鹽江村大字小倉ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十二年五月二十五日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十六號

東京府東京市立東京商業補習夜學校ノ組織ヲ變更シ乙種商業學校程度トナシ明治四十二年五月ヨ

リ東京市立商業夜學校ト改稱ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十七號

鳥取縣鳥取市東町ニ商業學校規程甲種程度ニ依リ鳥取縣立商業學校ヲ設置シ明治四十三年四月ヨ

リ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十八號

和歌山縣日高郡湯川村ニ農業學校規程乙種程度水産學校規程別科程度及徒弟學校規程ニ依リ和歌

山縣日高郡湯川村外七箇村學校組合立日高第一實業學校ヲ設置シ明治四十二年五月ヨリ開校ノ件

認可セリ

明治四十二年五月二十七日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十九號

和歌山縣日高郡南部町ニ農業學校規程、商業學校規程乙種程度及徒弟學校規程ニ依リ和歌山縣日

高郡上南郡村學校組合立日高第二實業學校ヲ設置シ明治四十二年五月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十號

村立余田文庫ヲ山口縣玖珂郡余田村立余田尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十二年五月二十七日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十一號

鹿兒島高等農林學校ノ位置ヲ鹿兒島縣鹿兒島市荒田町トシ明治四十二年九月ヨリ授業ヲ開始ス

明治四十二年五月三十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十二號

鹿兒島高等農林學校ノ事務ハ當分ノ内文部省内ニ於テ之ヲ取扱フ
明治四十二年五月三十一日

文部大臣 小松原英太郎

○農商務省告示第八十九號

森林法ニ依リ保安林ヲ解除ス

明治四十二年五月一日

縣	西筑摩	村	大字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
長野	四筑摩	相川	大字			二四六	三八六二八〇 町段數少 三六三二八〇 一四〇一

○農商務省告示第九十號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ長崎縣知事ニ於テ告示シタル左記保安林ハ之ヲ解除セシム

明治四十二年五月一日

縣	北松浦	村	大字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
長崎	北松浦	平戸	大字			九二一	告示面積 町段數少 三三九〇〇

○農商務省告示第九十一號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十二年五月一日

縣	上伊那	町村	大字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
長野	上伊那	飯島	大字			石台根 一八四九二 一八四九三	町段數少 一五五〇
同	同	伊那	大字			宮垣外 一八四九三 八七三〇	町段數少 二五五

○農商務省告示第九十二號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十二年五月三日

縣	茨城	郡	大字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
茨城	鹿島	鹿島	大字			鹿島山	町段數少 八〇〇〇
同	同	同	同			同	町段數少 五二二八
同	同	同	同			同	町段數少 一四〇
同	同	同	同			同	町段數少 一四〇
同	同	同	同			同	町段數少 二〇二五

○農商務省告示第九十三號

明治四十二年四月二十九日左記專用漁業權者ノ代表者ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

明治四十二年五月三日

漁業權者ノ代表者ノ名簿住所
石川縣羽咋郡越路野村字千路 千路漁業組合

○農商務省告示第九十四號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十二年五月五日

縣	山梨	郡	大字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
山梨	北巨摩	日野春	大字			三三〇五	町段數少 三三〇五
同	同	日野春	大字			三三〇五	町段數少 三三〇五
同	同	日野春	大字			三三〇五	町段數少 三三〇五
同	同	日野春	大字			三三〇五	町段數少 三三〇五

農商務省告示第二百七號
 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
 明治四十二年五月十三日

縣	郡	村	大字	字	地番	面積
長崎	西彼杵	式見	大字	神樂島	三三三三	一〇〇〇
同	同	同	大字	赤麻	三〇六一	一〇〇〇
同	同	同	大字	赤前	一七四〇	一〇〇〇
同	同	同	大字	下高根澤	一〇〇八	一〇〇〇
同	同	同	大字	芳志月	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	無架屋	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	中島	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	大久保	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	宮保	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	收野	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	收野	一七三六	一〇〇〇

農商務省告示第二百八號
 森林法ニ依リ左記ノ簡所ヲ保安林ニ編入ス
 明治四十二年五月十三日

縣	郡	村	大字	字	地番	面積
長崎	西彼杵	式見	大字	神樂島	三三三三	一〇〇〇
同	同	同	大字	赤麻	三〇六一	一〇〇〇
同	同	同	大字	赤前	一七四〇	一〇〇〇
同	同	同	大字	下高根澤	一〇〇八	一〇〇〇
同	同	同	大字	芳志月	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	無架屋	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	中島	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	大久保	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	宮保	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	收野	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	收野	一七三六	一〇〇〇

農商務省告示第二百九號
 森林法ニ依リ左記ノ簡所ヲ保安林ニ編入ス
 明治四十二年五月十四日

農商務大臣 男爵大浦兼武
 男爵大浦兼武

縣	郡	村	大字	字	地番	面積
長崎	西彼杵	式見	大字	神樂島	三三三三	一〇〇〇
同	同	同	大字	赤麻	三〇六一	一〇〇〇
同	同	同	大字	赤前	一七四〇	一〇〇〇
同	同	同	大字	下高根澤	一〇〇八	一〇〇〇
同	同	同	大字	芳志月	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	無架屋	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	中島	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	大久保	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	宮保	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	收野	一七三六	一〇〇〇
同	同	同	大字	收野	一七三六	一〇〇〇

海風漁業 海風 免許番號 第一九四七號 漁場ノ位置 廣島縣廣島市船入村及江波村界ヨリ佐伯郡津村大字庚午新開ニ至ル地先 漁業權者ノ 廣島縣廣島市江波村江波村漁業組合 代表者	海風漁業 海風 免許番號 第一九四八號 漁場ノ位置 廣島縣廣島市宇品島南端ヨリ同市船入村及江波村界ニ至ル地先 漁業權者ノ 廣島縣廣島市廣島漁業組合 代表者	海風漁業 海風 免許番號 第一九四九號 漁場ノ位置 廣島縣廣島市吉島村新開川堤防ヨリ佐伯郡津村ニ至ル地先 漁業權者ノ 廣島縣佐伯郡津村津村漁業組合 代表者	海風漁業 海風 免許番號 第一九五〇號 漁場ノ位置 廣島縣廣島市宇品町眼鏡橋門ヨリ同市吉島村新開川堤防ニ至ル地先 漁業權者ノ 廣島縣安藝郡仁保島村大字淵崎 代表者	海風漁業 海風 免許番號 第一九五二號 漁場ノ位置 長崎縣東彼杵郡江上村ノ地先 漁業權者 長崎縣東彼杵郡江上村江上村漁業組合 代表者	海風漁業 海風 免許番號 第一九五三號 漁場ノ位置 長崎縣東彼杵郡田村大字石田ノ地先 漁業權者 長崎縣東彼杵郡田村大字石田印通寺浦漁業組合 代表者	海風漁業 海風 免許番號 第一九五四號 漁場ノ位置 長崎縣東彼杵郡石田村大字石田ノ地先(願瀬) 漁業權者 長崎縣東彼杵郡石田村大字石田印通寺浦漁業組合 代表者	海風漁業 海風 免許番號 第一九五五號 漁場ノ位置 長崎縣東彼杵郡石田村大字簡城ノ乙島ノ地先 漁業權者 長崎縣東彼杵郡石田村大字石田印通寺浦漁業組合 代表者	海風漁業 海風 免許番號 第一九五六號 漁場ノ位置 大分縣東國東郡伊美村龍ヶ鼻ヨリ竹田津村馬ノ瀬ニ至ル間ノ地先 漁業權者ノ 大分縣東國東郡竹田津村大字竹田津三百十九番地藤原亮吉 代表者
---------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

○農商務省告示第二百二十六號
森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス
明治四十二年五月二十日

岡山 上房 村上 大字 水ヶ谷 10,000 所有者 片山 共二	岡山 川上 手莊 大字 大平 1,117 所有者 三宅榮雄太郎 外五人	岡山 宇治 宇治 大字 道ノ下 5,000 所有者 大内大介	岡山 宇治 宇治 大字 道ノ上 1,111 所有者 三宅榮雄太郎 外五人	岡山 宇治 宇治 大字 守ノ上 1,111 所有者 深耕 寺	岡山 宇治 宇治 大字 守ノ上 1,111 所有者 同	岡山 宇治 宇治 大字 守ノ上 1,111 所有者 同	岡山 宇治 宇治 大字 守ノ上 1,111 所有者 同	岡山 宇治 宇治 大字 守ノ上 1,111 所有者 同	岡山 宇治 宇治 大字 守ノ上 1,111 所有者 同
----------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------

農商務大臣 男爵大浦兼武
農務大臣 男爵大浦兼武
農務大臣 男爵大浦兼武
農務大臣 男爵大浦兼武
農務大臣 男爵大浦兼武
農務大臣 男爵大浦兼武
農務大臣 男爵大浦兼武
農務大臣 男爵大浦兼武
農務大臣 男爵大浦兼武
農務大臣 男爵大浦兼武

明治四十二年五月 告示 農商務省第二百二十六號 第二百二十七號 第二百二十八號
八三七

縣	郡	村	大字	字	面積	所有者
農務省告示第二百五十七號 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス 明治四十二年五月三十一日	農務大臣 男爵大浦兼武	同	同	同	同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同

縣	郡	村	大字	字	面積	所有者
農務省告示第二百五十八號 森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ岡山縣知事ニ於テ告示シタル左記保安林ハ之ヲ解除セシム 明治四十二年五月三十一日	農務大臣 男爵大浦兼武	同	同	同	同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同

縣	郡	村	大字	字	面積	所有者
農務省告示第二百六十號 森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ岡山縣知事ニ於テ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セシム 明治四十二年五月三十一日	農務大臣 男爵大浦兼武	同	同	同	同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同

縣	郡	村	大字	字	面積	所有者
農務省告示第二百五十九號 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス 明治四十二年五月三十一日	農務大臣 男爵大浦兼武	同	同	同	同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同
					同	同

一金貳百五拾貳萬壹千四百九拾八圓
一金貳百四拾貳萬貳千圓

買收價額
公債交付額

○逓信省告示第四百八十三號
本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ取扱フ

明治四十二年五月三日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第四百八十四號
本月六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

- 明治四十二年五月四日
逓信大臣 男爵後藤新平
- | 名稱 | 位置 | 群馬縣多野郡藤岡町 |
|------------|---------------------|-----------|
| 本所林町郵便局 | 東京市本所區林町三丁目(本所局) | |
| 淺草淺草町郵便局 | 東京市淺草區淺草町(淺草局) | |
| 日本橋箱崎町郵便局 | 東京市日本橋區箱崎町四丁目(日本橋局) | |
| 本郷駒込蓬萊町郵便局 | 東京市本郷區駒込蓬萊町(本郷局) | |
| 日本橋小網町郵便局 | 東京市日本橋區小網町四丁目(日本橋局) | |
| 墨谷宮益町郵便局 | 東京府墨谷郡墨谷町(墨谷局) | |
| 甲府櫻町郵便局 | 甲府市櫻町三丁目(甲府局) | |
| 谷津郵便局 | 千葉縣千葉郡三宮村(谷津局) | |

○逓信省告示第四百八十五號

郵便局所ニ於テ外國為替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
明治四十二年五月四日
逓信大臣 男爵後藤新平

種類	香港洋銀	圓
一ドル	八八五五八	一個ニ付「一」ダラー「十三」セント
一ポンド	八八五	一個ニ付「〇」四八
一セント	八五七五〇	一個ニ付「一」ダラー「十六」セント
	八五八	

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○逓信省告示第四百八十六號
本月六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

- 明治四十二年五月四日
逓信大臣 男爵後藤新平
- | 名稱 | 位置 | 御嶽郵便局 |
|--------|------------|------------|
| 竹ヶ島郵便局 | 岐阜縣羽島郡竹ヶ島町 | 岐阜縣可兒郡御嶽町 |
| 高田郵便局 | 岐阜縣養老郡高田町 | 岐阜縣土岐郡土岐津町 |
| 垂井郵便局 | 岐阜縣不破郡垂井町 | 岐阜縣土岐郡多治見町 |
| 大坂郵便局 | 岐阜縣安八郡大坂町 | 岐阜縣惠那郡大井町 |
| 揖斐郵便局 | 岐阜縣揖斐郡揖斐町 | 岐阜縣惠那郡中津町 |
| 關野郵便局 | 岐阜縣武儀郡關野町 | 岐阜縣本巢郡北方町 |
| 太田郵便局 | 岐阜縣加茂郡太田町 | 岐阜縣海津郡高須町 |
| 八百津郵便局 | 岐阜縣加茂郡八百津町 | |

○逓信省告示第四百九十號

北越鐵道株式會社所屬鐵道買收價額並ニ公債交付額左ノ通決定ス

明治四十二年五月四日

逓信大臣

男爵後藤新平

一金七百七拾七萬六千八百八拾七圓拾五錢貳厘

一金參百七拾貳萬壹千八百圓

買收價額

公債交付額

○逓信省告示第四百九十一號

北海道鐵道株式會社所屬鐵道買收價額並ニ公債交付額左ノ通決定ス

明治四十二年五月四日

逓信大臣

男爵後藤新平

一金壹千四百拾五萬貳千九拾六圓六拾參錢六厘

一金六百拾參萬壹千五百圓

買收價額

公債交付額

○逓信省告示第四百九十二號

阪鶴鐵道株式會社所屬鐵道及兼業資產買收價額並ニ公債交付額左ノ通決定ス

明治四十二年五月四日

逓信大臣

男爵後藤新平

一金七百萬九千五百拾參圓七拾七錢四厘

兼業ノ部
一金參百七拾萬壹千貳百圓

買收價額

公債交付額

兼業ノ部
一金五拾八萬參千貳圓五拾錢壹厘

一金五拾八萬參千五百拾圓

買收價額

公債交付額

○逓信省告示第四百九十三號

本月六日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十二年五月五日

逓信大臣

男爵後藤新平

名 稱

現在 在 位 區

移 轉 位 區

內藤新當郵便局

東京府豐多摩郡内藤新當町

東京府豐多摩郡進橋町

○逓信省告示第四百九十四號

本月六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十二年五月五日

逓信大臣

男爵後藤新平

名 稱

位 區

八幡宮郵便局

愛媛縣西宇和郡八幡宮町

○逓信省告示第四百九十五號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十二年五月五日

逓信大臣

男爵後藤新平

監督局

開設局

高 松

八幡宮

八幡宮町(字左島ヲ除ク)

高 松

八幡宮

大字 矢野町

高 松

八幡宮

同 五反田 字 五 反 田

高 松

八幡宮

同 栗ノ浦(字日浦同綱引同水島ヲ除

高 松

八幡宮

同 太 平(字津羽井ヲ除ク)

高 松

八幡宮

同 向灘浦

○逓信省告示第四百九十六號

本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十二年五月六日

逓信大臣

男爵後藤新平

現名稱

改 稱

位 區

泊村郵便局

改 稱 國後郵便局

北海道千島國國後郡泊村

○逓信省告示第四百九十七號

本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十二年五月六日

逓信大臣

男爵後藤新平

現名稱

改 稱

位 區

泊村郵便局

改 稱 國後郵便局

北海道千島國國後郡泊村

○逓信省告示第四百九十八號

本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十二年五月六日

逓信大臣

男爵後藤新平

現名稱

改 稱

位 區

泊村郵便局

改 稱 國後郵便局

北海道千島國國後郡泊村

○逓信省告示第四百九十九號

本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十二年五月六日

逓信大臣

男爵後藤新平

現名稱

改 稱

位 區

泊村郵便局

改 稱 國後郵便局

北海道千島國國後郡泊村

○逓信省告示第五百號

本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十二年五月六日

逓信大臣

男爵後藤新平

現名稱

改 稱

位 區

泊村郵便局

改 稱 國後郵便局

北海道千島國國後郡泊村

○遞信省告示第四百九十七號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十二年五月八日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百九十八號

明治三十七年六月遞信省告示第三百七十七號外國電報料金表第四表中左ノ通改ム

明治四十二年五月八日

遞信大臣 男爵後藤新平

Mexico(墨西哥地方)ノ部中「Chihuahua(チロイマホマ)」「Chihuahua City(チロイマホマ、マナー)」「Malamoros, Tamaulipas(タマホロモロス、マナー)」「Malamoros, Tamaulipas(タマホロモロス、マナー)」ト改ム

同部中「Mexico City(メキシコ、マナー)」ノ次ニ「Puerto Mexico(プエルト、メキシコ)」ヲ加フ

同部中「Veracruz City(ヴァクサクルス、マナー)」ノ項ノ次ニ左ノ通加フ

Base California (カカリフォルニア)

El Triunfo (エトリフンポ)

Ensenada de Todos Santos (エンセナダ、デ、トドス、サンタス)

La Paz (ラパズ)

San José del Cabo (サンホセ、デル、カボ)

Todos Santos (トドス、サンタス)

South America (南亞米利加地方)ノ部「Panamá(パナマ)」ノ項中「Iquitos(イキトス)」以下「Reguena(レグエナ)」「マテノ各地」ノ下「米」及「Other Places(其他各地)」ノ項ノ次ニアル記事ヲ削ル

○遞信省告示第四百九十九號

下關海峡早瀬瀬戸重ノ浦沿岸へ潮流観測用ノ爲メ不日左記ノ挂燈浮標ヲ設置ス

但設置ノ上ハ更ニ告示スヘシ

明治四十二年五月八日

遞信大臣 男爵後藤新平

早瀬瀬戸潮流観測挂燈浮標

一構造及著色 鐵造鐵頭圓錐形白色、上部ニ格子製柵ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲ク

一白水面高 約一丈

一燈 質 「シ」式瓦斯不動綠色

○遞信省告示第五百號

明治三十年十月二日遞信省告示第三百五十七號秋田局電話特別加入區域中「秋田縣南秋田郡旭川村大字手形字野崎」ノ下ニ「大字濁川字堀尾田」ヲ追加シ本月十六日ヨリ施行ス

明治四十二年五月十日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第五百一號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十二年五月十日

遞信大臣 男爵後藤新平

「井手長池間」ノ次ニ

加入區域外

一通話ノ

一回ノ電

「長池大阪間」ノ次ニ

井手 井手

金二十錢

金十五錢

「福島郡山間」ノ次ニ

長池 長池

金二十五錢

金十五錢

「福島郡山間」ノ次ニ

福島 福島

金五十五錢

金二十錢

明治四十二年五月 告示 遞信省第五百號 第五百一號

八八七

「米澤郡山間」ノ次ニ
米澤郡山間 金四十錢
山形郡山間 金三十五錢
上ノ山天童間ノ次ニ
山形郡山間 金二十五錢
上ノ山天童間 金二十五錢

○逓信省告示第五百三號
愛媛縣伊豫國來島海峽馬島サザイ塔附近へ潮流観測用ノ爲メ不日左記ノ挂燈浮標ヲ碇置ス
但碇置ノ上ハ更ニ告示スヘシ
明治四十二年五月十日
逓信大臣 男爵後藤新平

來島海峽潮流観測挂燈浮標
一構造及著色 鐵造圓筒形白色、上部ニ格子製機ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲ク
一自水面高 約一丈
一燈 質 「アセトン」瓦斯閃光白色
○逓信省告示第五百三號
郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
明治四十二年五月十一日
逓信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一「メラー」	八九八三三	一圓ニ付「メラー」十二「セント」
	一「セント」	八九八	
銀	一「メラー」	八九五二七	一圓ニ付「メラー」十二「セント」
	一「セント」	八九九	

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ如ク

○逓信省告示第五百四號
明治三十八年十一月 逓信省令第八十四號ニ依リ本日ヨリ左記續業特設電話所ヲ設置ス
明治四十二年五月十一日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百五號
名 稱 城戸續業特設電話所 位 置 福島縣雙葉郡龍田村
明治三十七年六月 逓信省告示第三百六十六號萬國電信條約附屬細目規則目第二十七條第四節「西班牙」ノ項「一」セテ「ニ」サンチーム「エ」ヲ「一」セテ「ニ」サンチーム「エ」ト改ム
明治四十二年五月十三日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百六號
明治三十七年八月 逓信省告示第三百九十二號萬國電信條約附屬細目規則中各國隨意規定事項ニ關スル外國電信主管廳及電信會社ノ決定中「一」一般ニ關スル事項「第一」電報ニ用フル時刻(目第四條第七節)採用子午線及標準時「ノ部中」和蘭「ノ項」ヲ左ノ通改正ス
明治四十二年五月十三日
逓信大臣 男爵後藤新平

和蘭 アムステルダムノ標準時(グリーンウヰツチノ子午線時ヨリ早キコト約二十分)
○逓信省告示第五百七號
本月十六日ヨリ左記郵便局ノ等級ヲ改定ス
明治四十二年五月十四日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置 現等級 改定等級
澁谷郵便局 東京府澁谷郡澁谷町 三 等 二 等

○逓信省告示第五百八號
明治四十年四月 逓信省告示第二百二十三號別表第一號表東京郵便局管轄中へ澁谷郵便局ヲ追加シ明
明治四十二年五月 告示 逓信省第五百四號 第五百五號 第五百六號 第五百七號 第五百八號 八八九